目的地の設定

本機では、さまざまな方法で目的地を検索できます。

いろいろな検索方法 …………………………………… 140
登録リストを編集する …………………………………… 160
こんな画面が表示されたら… ……………………………… 162

いろいろな検索方法

本機に収録されているデータから、効率良く目的地を探し出すことができます。

- **検索結果として表示される施設の位置は、あくまでもその施設の位置を示しています。そのため、そのまま目的地として設定すると、まれに施設の裏側や高速道路上など、車で行くのに適さない場所に誘導されることがあります。あらかじめご了承の上、目的地付近の経路をお確かめいただくよう、お願いいたします。**

- 目的地や経由地を道路上に設定するときは、国道・主要地方道路・都道府県道路・主要一般道路・高速道路・有料道路に設定してください。

目的地を設定すると、以下のような地点メニュー画面が表示されます。

ここに行く をタッチすると、目的地までのルートが設定され、ルート案内が開始されます。(P.65)

また、目的地までのルートの条件を変更することもできます。(P.165)

目的地メニューから探す

ここまでの操作

タッチキー	検索方法	参照ページ
電話	目的地の電話番号を入力して探す	P.142
住所	住所を入力して探す	P.55
名称	行きたい施設の名称を入力して探す	P.58
ジャンル	ジャンルを選択して施設を探す	P.142
登録リスト	本機に登録した地点から探す	P.59
TV･雑誌	TV番組や雑誌で紹介されたお店などを探す	P.144
周辺検索	自車位置や目的地などの周辺の施設を探す	P.146
その他	ハイウェイや緯度経度などから探す	P.152
お気に入り	よく行く地点から探す	P.62
自宅へ戻る	自宅を目的地として設定する	P.54
目的地解除	目的地を解除する	P.178

- 走行中は選択できる項目が限定されます。
- 目的地メニュー画面は、レイアウトや表示内容を変更することができます。詳しくは「スクリーンの設定をする」（P.295）をご覧ください。

電話番号から探す

- 携帯電話やPHSの電話番号からは目的地・地点を探せません。
- 電話帳に掲載されていない電話番号では目的地・地点を探せません。
- データの整備状況により、探せない施設や位置が正確ではない施設があります。
- 敷地が広大である場合や近くに道路がない場合など、位置が正確ではない施設の場合、警告音と共に「ピンポイントのデータではありません･･･」というメッセージが表示され、その後に地図が表示されます。このとき地図に示された位置はおおよその位置であり、正確な施設の位置とは異なります。ご注意ください。
- 電話番号で目的地・地点を探したときに、複数の施設が見つかる場合があります。この場合は、施設がリストで表示されるので、リストから目的の施設を選択してください。

ここまでの操作

 ▶

1 目的地の電話番号を市外局番から入力する

2 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

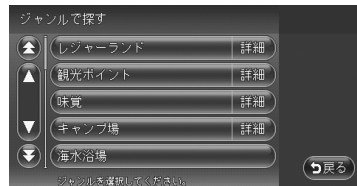
ジャンルから探す

「食べる･飲む」、「遊ぶ･見る」などのジャンルを選択して、該当する施設を探します。

ここまでの操作

 ▶

1 ジャンルをタッチする

2 施設のジャンルをタッチする

選択したジャンル内に詳細なジャンルがない場合は、施設リスト画面が表示されます。手順3に進んでください。

- 詳細 をタッチすると、さらにジャンルを選択できます。

3 目的の施設をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

- 対象となる施設の数が1万件を超えた場合は、都道府県を選択する画面が表示されます。目的地とする施設の都道府県をタッチしてください。

キーワードを入力して探す

施設に関連した言葉をキーワードとして入力し、施設を探します。

1 キーワードを入力して 決定 をタッチする

• キーワードの入力途中でも対象が絞られた場合は、自動的にジャンルのリストが表示されます。

2 目的のジャンルをタッチする

3 目的の施設をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

• 似た名前の別のジャンルに目的の施設データが含まれる場合があります。目的の施設が見つからない場合は、似た名前のジャンルも探してみることをおすすめします。
• 対象となる施設の数が1万件を超えた場合は、都道府県を選択する画面が表示されます。目的地とする施設の都道府県をタッチしてください。

TV・雑誌の情報から探す

TV番組や雑誌で紹介された施設を、目的地として設定できます。
TV・雑誌の情報を更新するには、「TV・雑誌情報の更新」（P.324）をご覧ください。

- メディアで紹介された施設をすべて収録しているわけではありません。レジャーランドなどの有名な施設でも収録されていない場合があります。
- 収録されている番組・雑誌は継続的に施設を紹介している特定のもので、今後は予告なく変更されることがあります。

TV番組･雑誌の名前から探す

目的の施設がどのTV番組・雑誌などで紹介されたかが分かっている場合の探しかたです。

ここまでの操作

1 番組･雑誌名 をタッチする

2 目的の番組または雑誌名をタッチする

3 目的の施設をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

- 画面上部に、紹介された番組・雑誌名、放送日または発売日が表示されます。番組の放送日はキー局の放送日であるため、地域によっては実際の放送日とは異なる場合があります。
- 施設リストで施設名称の横に表示されるアイコンは、その施設のジャンルを表します。

ジャンルから探す

目的の施設を、ジャンルから検索します。ジャンルは、大きく分けて「食べる·飲む」、「遊ぶ・見る」、「泊まる」、「買う」の4種類があります。

ここまでの操作

1 ジャンル をタッチする

2 目的のジャンルをタッチする

3 目的の詳細ジャンルをタッチする

4 目的の施設をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

周辺から探す

自車・目的地・地図をスクロールした表示先周辺の施設をジャンルで検索できます。

ここまでの操作

1 周辺検索 をタッチする

2 自車周辺 、目的地周辺 または 表示先周辺 をタッチする

3 目的のジャンルをタッチする

自車周辺、目的地周辺または地図をスクロールした表示先周辺の施設が検索され、結果がリスト表示されます。

- 詳細 をタッチすると、詳細ジャンルリストから絞り込めます。

4 目的の施設をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

周辺検索メニューから探す

自車位置や目的地などの周辺の施設を検索できます。

ここまででの操作

[旗アイコン] ▶ 周辺検索 またはナビゲーションコントロールバーの 周辺検索

タッチキー	検索方法	参照ページ
お好み一括	お好み最短リスト(P.147)に登録されているすべてのジャンルの施設を、自車周辺で一括して探す	P.148
お好み最短検索	お好み最短リスト（P.147）に登録されているジャンルの施設をジャンルごとに探す	P.148
自車周辺 目的地周辺 表示先周辺	自車、目的地、地図をスクロールさせた表示先周辺の施設をジャンルごとに探す	P.149
駐車場ニアピン	目的地に最も近い駐車場を探す	P.149
駐車場リレー検索	目的地として設定した駐車場が満車などで使用できない場合、その周辺の他の駐車場を探す	P.150
ルートサイド	目的地までのルート沿いの施設を、立寄地として設定する	P.151
検索アイコン消去 ※	検索アイコンの表示を地図上から消去する	—

※「検索アイコン」とは、周辺検索で検索した施設のアイコンの上に矢印が付いたものです。

- 目的地が設定されていない場合は、周辺検索メニューで選択できる項目は限定されます。
- 走行中は選択できる項目が限定されます。

よく使うジャンルを登録する

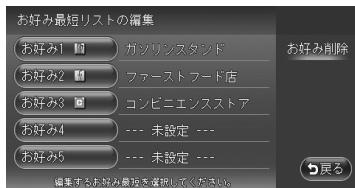
よく使う施設のジャンルを5つまで本機に登録できます。ジャンルを登録しておくと、目的地をジャンルで探すときにすばやく呼び出せて便利です。
コンビニやガソリンスタンドは、店名まで指定して登録することもできます。

ここまででの操作

▶ 周辺検索

1 お好み変更 をタッチする

お好み最短リストが表示されます。

2 登録したいお好み番号をタッチする

- ジャンルが表示されているお好み番号を選択すると、ジャンルが上書きされます。
- お好み削除 をタッチすると、お好み設定に登録したジャンルを削除できます。

3 登録したいジャンルをタッチする

4 登録したいジャンルを選択して 決定 をタッチする

- 決定 をタッチすると、選択したジャンル内のすべてのジャンルが登録されます。
- 詳細 をタッチすると、店名を設定できます。

よく使うジャンルが登録され、周辺検索メニュー画面に選択したジャンルのアイコンが表示されます。

よく使うジャンルから探す

「よく使うジャンル」として登録したジャンルで、現在地周辺の施設を探せます。周辺100km以内の地域で、最大100件までの施設を探せます。

ここまでの操作

▶ 周辺検索

1 お好みのジャンルのアイコンをタッチする

2 施設をタッチする

3 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

よく使うジャンルを一括で探す

「お好み設定」に登録されたすべてのジャンルの施設を、現在地周辺10ｋm以内の地域で1ジャンルにつき5件まで一括で探せます。

- 「お好み設定」にジャンルを登録するには、「よく使うジャンルを登録する」（P.147）をご覧ください。

ここまでの操作

▶ 周辺検索

1 お好み一括 をタッチする

2 行きたい施設のジャンルをタッチする

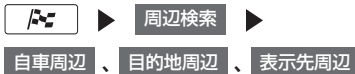
- ジャンルのキーをタッチすると、次の候補施設が表示されます。
- ガイド をタッチすると、施設の情報が表示されます。
- 地図は北方向上向きで表示されます。表示されている地図を拡大・縮小できますが、地図をスクロールしたり、向きを変えたりすることはできません。

3 施設の場所を確認して 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

現在地･目的地･地図表示位置周辺から探す

現在地・目的地・地図をスクロールして表示した先の周辺にある施設を探します。

ここまでの操作

のいずれか

- 目的地を設定していない場合は、目的地周辺 は表示されません。

1 施設のジャンルをタッチする

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

2 目的の施設をタッチする

- 施設の名前の横に施設までの距離と方向が表示されます。

3 場所を確認して 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

目的地周辺の駐車場を探す

目的地に最も近い駐車場を目的地として設定できます。目的地の半径800m以内にある駐車場を最大10件まで探します。目的地までのルートが設定されていないと、この操作はできません。

ここまでの操作

1 行きたい駐車場をタッチする

- 駐車場の名前の横に駐車場までの距離が表示されます。

2 場所を確認して 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

- 前の駐車場 、次の駐車場 をタッチすると候補の前／次の駐車場が表示されます。
- 目的地は黄色い旗、駐車場は白い旗で表示されます。

別の駐車場を探す（駐車場リレー検索）

ジャンル検索、お好み最短検索、駐車場ニアピンで、目的地として設定した駐車場が満車のときに、別の駐車場を探します。

- 以下の場合には、駐車場リレーは解除されます。
  - 目的地を解除または変更した場合
  - 他の駐車場 が表示されている状態で車のエンジンスイッチまたはパワースイッチをLOCKにした場合
  - 一度目的地に近づいてから1km以上離れた場合
- 目的地周辺に他の駐車場がなく、駐車場ニアピンで検索した場合、この操作はできません。

1 目的地到着後、他の駐車場 をタッチする

周辺の駐車場が、地図上に10件まで表示されます。

2 行きたい駐車場を選択して 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

- 目的地は黄色い旗、駐車場は白い旗で表示されます。
- 前の駐車場 をタッチすると前の駐車場、次の駐車場 をタッチすると次の駐車場が表示されます。
- 一度行った駐車場は、水色のアイコンから赤の横線のあるアイコンに変わって区別されます。目的地を解除するか、エンジンスイッチまたはパワースイッチをLOCKにすると、アイコンの色区別は解除されます。

ルート沿いの施設を探す

目的地までのルート沿いの施設を、立寄地として設定できます。立寄地は目的地までのルート沿いにある施設のことで、経由地とは異なります。
目的地までのルートが設定されていないと、この操作はできません。

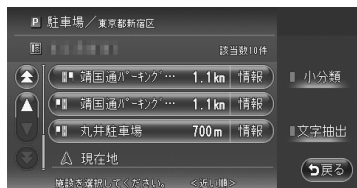
- 立寄地に近づくと、メロディなどの音声で案内されます。
- ルートを再計算すると、立寄地は解除されます。

ここまででの操作

▶ 周辺検索 ▶ ルートサイド

1 ジャンルをタッチする

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

2 目的の施設をタッチする

- 施設の名前の横に施設までの距離と方向が表示されます。

3 場所を確認して 立寄地に設定 をタッチする

地図上の立寄地に 立寄地点 というアイコンが表示されます。

その他のメニューから探す

緯度・経度や郵便番号を入力して目的地を検索できます。

ここまでの操作

▶ その他

タッチキー	検索方法	参照ページ
履歴	過去に表示した地図の履歴から探す	P.153
ハイウェイ	サービスエリア、高速道路の入り口・出口などを探す	P.153、P.154、P.155
緯度･経度	目的地の緯度・経度を入力して探す	P.156
郵便番号	目的地の郵便番号を入力して探す	P.156
マップコード	目的地のマップコードを入力して探す	P.157
メモリーカードから	メモリーカード内の登録地を目的地に設定する	P.157
MYスポット	メモリーカード内のMYスポットを目的地に設定する	P.158
MYコース	メモリーカード内のMYコースを目的地へのコースとして設定する	P.158

- 走行中は、本操作を行えません。
- ハイウェイ から目的地検索を行うと、検索結果として道路の分岐点や合流点上の地点が表示されることがあります。この場合、適切なルートとならないことがありますので、地点の位置を適宜調整していただくようお願いいたします。

履歴から探す

今まで目的地として設定した地点の一覧から探します。

1 目的の地点をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

- 地点削除 をタッチすると、地点を選択して履歴から削除できます。
- 履歴は最大10件まで保存されます。

道路名から探す

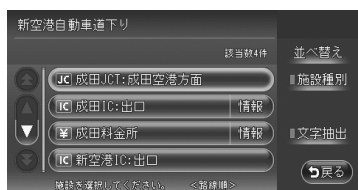
ハイウェイの施設を、道路名や路線図から検索して探します。

1 道路別 をタッチする

2 道路の種類をタッチする

- 高速道路 をタッチした場合でも、高速道路以外の有料道路が目的地候補として表示される場合があります。

3 路線をタッチする

4 目的の施設をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

ハイウェイの最寄りの入り口から探す

現在地の近くにあるハイウェイの入り口を探します。

ここまでの操作

▶ その他 ▶ ハイウェイ

1 最寄の入り口 をタッチする

2 入り口をタッチする

- 入り口までの距離と方向が表示されます。

3 場所を確認して 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

目的地周辺のハイウェイの出口を探す

目的地周辺にあるハイウェイの出口を探します。
目的地が設定されていないと、この操作はできません。

1 目的地周辺出口 をタッチする

2 施設をタッチする

• 出口までの距離が表示されます。

3 場所を確認して 決定 をタッチする

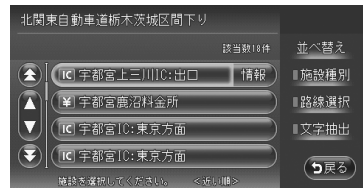
目的地の地図と地点メニューが表示されます。

ハイウェイの施設名から探す

ハイウェイの施設名を入力して探します。

1 名称 をタッチする

2 施設の名称を入力して 決定 をタッチする

3 施設をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

緯度･経度から探す

ここまでの操作

緯度･経度

1 北緯と東経を入力して 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

郵便番号から探す

ここまでの操作

1 郵便番号を入力して 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

- 入力した郵便番号に該当するデータが見つからない場合は、メッセージが表示されて郵便番号の入力画面に戻ります。

マップコードから探す

マップコードから目的地を探します。本機では、標準、高精度どちらのマップコードにも対応しています。マップコードは、出版物などで調べられます。

- マップコード……6～ 12桁の数字と＊で構成された、地点を表すコードのこと。6～ 10桁のコードを標準マップコード、12桁のコードを高精度マップコードと呼び、場所を表す精度が異なります。

ここまでの操作

1 マップコードを入力して 決定 をタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

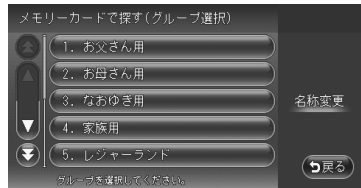
- マップコードに関するお問い合わせ先は以下のとおりです。
  ホームページ：
  http://guide2.e-mapcode.com/
  電話：
  0566-61-4210（株式会社デンソー MCプロジェクト）

SDカードから探す

別売のSDカード（メモリーカード）に保存した登録地点から目的地を探します。

- SDカードに登録地がすでに保存されている必要があります。SDカードに地点を登録する方法については、「登録地点を書き出す」（P.316）をご覧ください。
- SDカードの操作について詳しくは、「SDカードを使う」（P.311）をご覧ください。

ここまでの操作

1 目的の登録地点が含まれているグループをタッチする

2 地点をタッチする

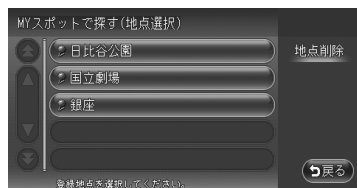
目的地の地図と地点メニューが表示されます。

MYスポットから探す

MYスポットから目的地を探します。

- MYスポット……クラリオン株式会社Webサイト「チズルとススム」(http://chizu-route-susumu.jp)を利用して、SDカードに保存できるお好みのスポット（位置情報）のこと。

- あらかじめ、SDカードにMYスポットを保存しておく必要があります。MYスポットの保存方法、取り込み方法については、「MYスポットの取り込み／書き出し」（P.322）をご覧ください。
- SDカードの操作について詳しくは、「SDカードを使う」（P.311）をご覧ください。
- SDカードに保存できるMYスポットは、最大450件です。

1 目的のMYスポットをタッチする

目的地の地図と地点メニューが表示されます。

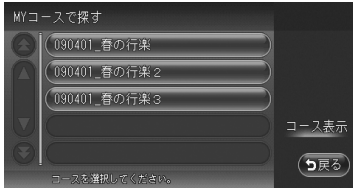
- 地点削除 をタッチすると、SDカードからMYスポットを削除できます。リストから削除するMYスポットを選択して、決定 ▶ はい をタッチします。

MYコースから探す

MYコースを利用して、ルートを設定できます。

- MYコース……クラリオン株式会社Webサイト「チズルとススム」(http://chizu-route-susumu.jp)を利用して、お好みのスポット（位置情報）を目的地、経由地に指定して作成するドライブコースのこと。作成したドライブコースは、SDカードに保存できます。

- あらかじめ、SDカードにMYコースを保存しておく必要があります。
- SDカードに保存するMYコースのファイルについて、詳しくは「MYコースを利用するには」（P.321）をご覧ください。
- MYコースで作成したルート、所要時間、渋滞情報は、Webの検索結果とは異なります。

1 目的のMYコースをタッチする

- ▲ または ▼ をタッチしてMYコースを選択し、コース表示 をタッチすると、コースの全体が表示されます。
- ダウンロード時のファイル名がMYコースの名前として扱われます。

2 決定 をタッチする

ルートを設定するための計算条件画面が表示されます。
計算 をタッチすると、目的地までのルートが設定されます。

登録リストを編集する

登録地点の情報を編集する

地点のデータを編集する

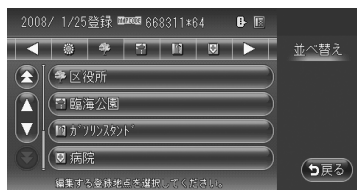
ここまででの操作

1 編集したいグループをタッチする

グループを設定していない場合は、手順2に進んでください。

2 編集 をタッチする

3 データ編集 をタッチする

4 編集したい登録地点をタッチする

5 編集したい項目をタッチして、登録地点の内容を編集する

アイコン・名称 ：

アイコン選択画面が表示されます。アイコンを選択して 決定 をタッチすると、名称入力画面が表示されます。自宅に設定したアイコンは変更できません。

グループ ：

グループ選択画面が表示されます。登録地を所属させるグループを選択して 決定 をタッチします。

電話番号 ：

電話番号入力画面が表示されます。電話番号を入力して、決定 をタッチします。

位置 ：

位置調整画面が表示されます。位置を調整して、決定 をタッチします。

愛称 ：

カナ入力画面が表示されます。愛称を入力して 決定 をタッチします。

音声選択 ：

車が登録地に近づいたときの音声案内の種類を設定します。音声選択画面から音声を選択して 決定 をタッチします。

グループの名称を編集する

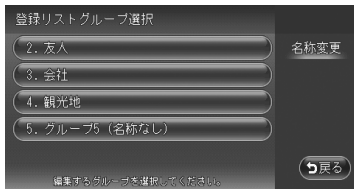
ここまでの操作

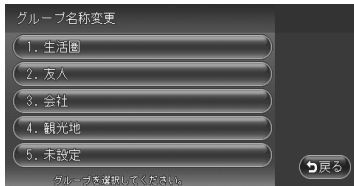
 ▶ 登録リスト

1 いずれかのグループをタッチする

2 編集 をタッチする

3 グループ編集 をタッチする

4 名称変更 をタッチする

- グループ名をタッチすると、グループに所属させる登録地点を変更できます。

5 名称を変更するグループをタッチする

6 名称を入力して 決定 をタッチする

グループの名称が変更されます。

リストから地点を削除する

ここまでの操作

  登録リスト

1 グループをタッチする

グループを設定していない場合は、手順2に進んでください。

2 編集 をタッチする

3 地点削除 をタッチする

4 削除する地点を選択して 決定 をタッチする

- アイコン選択 をタッチすると、アイコンを選択して登録地点を絞り込めます。

5 はい をタッチする

選択した地点が登録リストから削除されます。

検索結果画面表示について

施設によっては、目的地検索後に以下のメッセージが表示される場合があります。

「ピンポイントのデータではありません。周辺の地図を表示します。実際の場所とは大きく異なる場合があります。」
ピンポイントで地点を検索できなかった場合に表示されます。正確な位置ではありませんので、施設位置をご確認の上、位置調整をしてください。

「施設入口地点を表示します。」
表示されている場所が施設の入口であるため、そのまま目的地として設定すると、車で走行するのには適さない場所に誘導される場合があります。

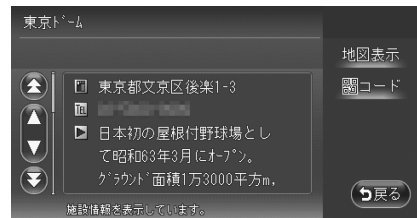
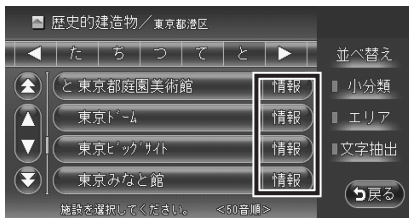
「経路誘導に最適な地点を表示します。」
目的地が（山の上など）誘導に適さない場所にある場合､車で行ける最適な地点を表示します。

目的地と誘導地点が離れている場合は、誘導地点が地図画面の中心に表示され、目的地は黄色の旗で表わされます。

専用駐車場や契約駐車場を併設した施設を選択すると、地図表示の前に駐車場のリスト画面が表示されることがあります。この場合、施設または駐車場を選択すると、それぞれの場所の地図が表示されます。駐車場を選択した場合は、中心位置に駐車場地点が、目的地施設の地点に黄色の旗が表示されます。

施設情報について

情報 を利用する

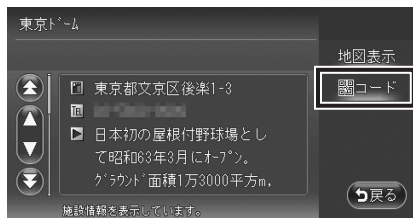
目的地を探すときに表示される施設リスト画面に、 情報 が表示されている施設には、住所や電話番号などの施設情報が登録されています。
情報 をタッチすると、施設情報画面が表示されます。

地図表示	施設の地図と地点メニューを表示する
コード	QRコードを表示する QRコードとは、携帯電話のカメラなどで読み取れるバーコードのことです。 QRコードを利用して、施設地図情報やガイド情報を携帯電話で確認できます。 詳しくは、**「施設情報をQRコードで読み取る」**（P.164）をご覧ください。

前施設 次施設 、施設情報 を利用する

施設リスト画面から目的の施設をタッチした後に表示される地図画面に、前施設 次施設 、施設情報 が表示されることがあります。

前施設 次施設	施設リストの前後の施設を表示する
施設情報	登録されている施設の情報を表示する

施設情報をQRコードで読み取る

施設情報画面で コード をタッチすると、施設情報が含まれたQRコード（携帯電話のカメラなどで読み取れるバーコード）が表示されます。
地図情報 または ガイド情報 をタッチして携帯電話でQRコードを読み取ると、施設情報の詳細を確認できます。

地図情報	施設の地図情報を携帯電話に表示する
ガイド情報	施設のガイド情報を携帯電話に表示する
縮小	QRコードを縮小表示する

ルートの設定と誘導

目的地を探したら、ルートを設定します。ルートが設定されると案内が始まりますので、ルート案内に従って走行してください。

設定したルートを変更する ………………………… 166
設定したルートを編集する ………………………… 173
設定したルートを確認する ………………………… 179

設定したルートを変更する

設定したルートを、お好みの条件で計算しなおします。

ここまでの操作

ナビゲーションコントロールバーの ルート

タッチキー	設定の内容	参照ページ
再計算	現在の計算条件で、ルートを再設定する	P.167
有料優先	有料道を優先して、ルートを再設定する	P.167
一般優先	一般道を優先して、ルートを再設定する	P.167
迂回計算	渋滞など、現在地から10km以内の避けたい場所を迂回するルートを設定する	P.167
複数計算	計算条件を変えて、最大８つのルートを表示する	P.168
計算条件	設定したルートの計算条件を変更する	P.170
ルート編集	経由地の追加や削除、目的地の位置を修正する	P.173
経由地削除	経由地を削除する※	P.177
出発時刻指定	出発予定時刻を含めた前後2時間の出発時刻から、ルートと到着予想時刻を比較する	P.169
ルート確認	設定したルート上を、画面上で移動しながら確認する 現在地から目的地までのルートを全体表示する	P.179
走行デモ	設定したルート上をデモ走行する	P.180
目的地解除	設定した目的地を解除する	P.178

※経由地を設定したルートを走行中に表示されます。

- 走行中は選択できる項目が限定されます。

ルートを再設定する

計算条件を変えずに再設定する

設定したルートを同じ条件で再計算します。オートリルート機能が「しない」に設定されているときに、ルートから外れてしまった場合に便利です。オートリルート機能については、「**ルート案内画面の設定をする**」（P.273）をご覧ください。

• 立寄地が設定されている場合、ルートを再設定すると、立寄地の設定は解除されます。

ここまでの操作

現在の条件でルートが再計算されます。

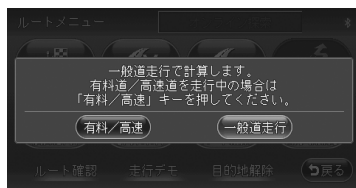
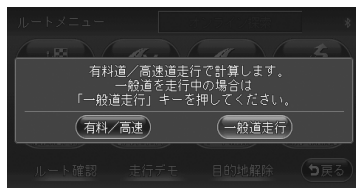
優先路を変更して再設定する

オートリルート機能が「しない」に設定されているときに、ルートから外れてしまった場合、優先的に走行するルートを選んで、ルートを設定しなおせます。オートリルート設定については、「**ルート案内画面の設定をする**」（P.273）をご覧ください。

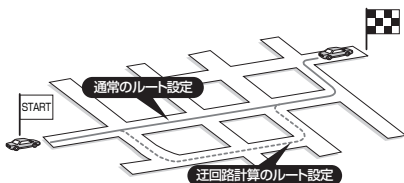
ここまでの操作

ルート ▶ 有料優先 または 一般優先

選択した道路を優先してルートを再計算します。

• 現在地の近くに有料道路がある場合に以下の画面が表示されます。現在走行中の道路をタッチしてください。

迂回ルートを再設定する

渋滞など、避けたい場所を迂回したルート（現在地から10km）を再計算できます。

• 別売のVICS光/電波ビーコン受信機を接続している場合、あらかじめ渋滞考慮計算を適用しておくと、ビーコンからのVICS渋滞情報を考慮した迂回ルートが設定されます。渋滞考慮計算の設定については、「ルート案内画面の設定をする」（P.273）をご覧ください。

ここまでの操作

ルート ▶ 迂回計算

迂回するルートが再計算されます。

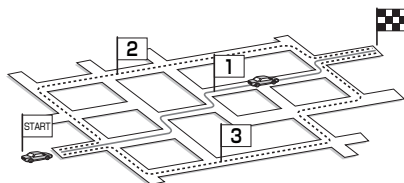
ルートを比較する

複数のルートを比較する

計算条件を変えて、最大で8つのルートを計算します。複数のルートの中からお好みのルートを選んで設定できます。
目的地の位置によっては、8つのルートを表示できない場合もあります。また、8つのルートの内容がすべて同じになる場合もあります。

- ルートに経由地を設定している場合は、複数ルートの計算はできません。
- 複数ルートには料金が表示されますが、一部の有料道路や変則的な料金体系の高速道路には対応していない場合があります。そのため、表示される料金は実際の料金と異なる場合があります。

8つのルート計算条件は、以下のとおりです。

1：有料道路、標準
2：一般道路、標準
3：有料道路、標準2（1の別ルート）
4：一般道路、標準2（2の別ルート）
5：有料道路、距離優先
6：一般道路、距離優先
7：有料道路、統計渋滞考慮
8：一般道路、統計渋滞考慮

ここまでの操作

ルート 複数計算 、

または地点メニューの 複数計算

1 希望のルートを選択してタッチし、決定 をタッチする

- 各ルートには、総走行距離と料金が表示されます。実際の料金が表示より高い可能性がある場合は、「¥○○以上」と表示されます。
- 地図では、複数のルートが色別に表示されます。ルートを選択すると、選択したルートが前面に表示されます。

2 案内開始 をタッチする

選択したルートが設定されます。

- 地図の拡大／縮小やスクロールでルートを確認できます。

出発時刻ごとのルートを比較する

出発日時を指定して、最適なルートを再計算します。

ここまでの操作

ルート ▶ 出発時刻指定

1 出発日時、時刻を入力し、 決定 をタッチする

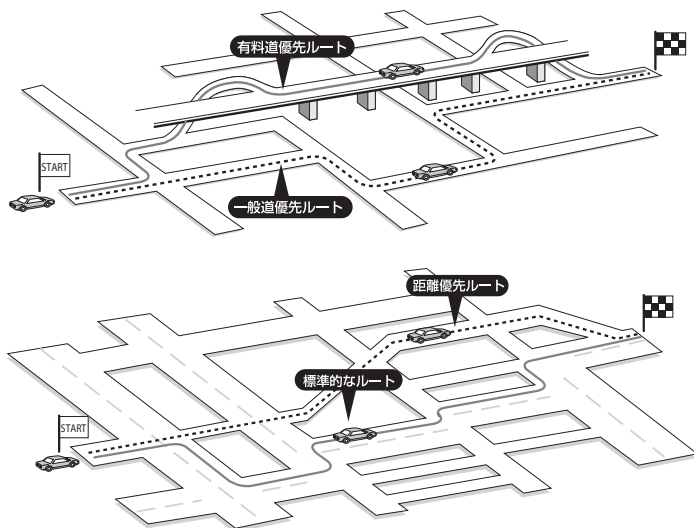
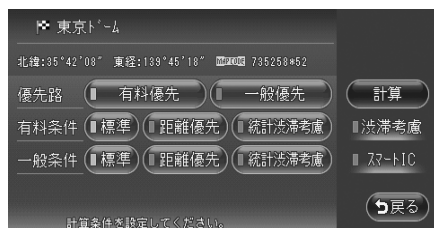
2 希望の出発時刻をタッチする

3 案内開始 をタッチする

ルートの優先路・計算条件を変える

計算条件を変える

計算条件を細かく指定して変え、ルートを設定できます。

ここまででの操作

▶
計算条件を選択し、 計算 をタッチすると、選択したルートが設定されます。

設定できる計算条件は以下のとおりです。

設定項目	設定の内容	設定値
優先路	有料道路と一般道路のどちらを優先するかを設定する	有料優先／一般優先
有料条件	［優先路］で 有料優先 を選択した場合の詳細な計算条件を設定する	標準：標準条件 距離優先：距離を優先 統計渋滞考慮：渋滞の統計データ※1を利用して計算
一般条件	［優先路］で 一般優先 を選択した場合の詳細な計算条件を設定する	
区間設定	経由地を設定した場合に、区間ごとに優先路を設定する	する／しない
スマートIC※2	利用できるスマートICを考慮してルート計算をする※3	利用する／利用しない
渋滞考慮※4	ビーコンVICSの渋滞情報を考慮してルート計算をする	する／しない

※1 渋滞の統計データとは、過去1年分のVICS情報を時間により分類し、統計処理したデータです（スマートICの営業時間や営業期間は統計処理されません）。

※2 スマートICとは、高速道路のサービスエリアやパーキングエリアなどから一般道路に出入りできるETC専用のインターチェンジです。

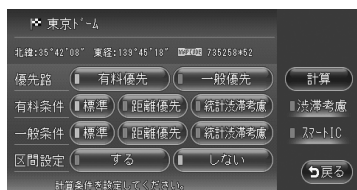
※3 スマートICの中には、社会実験として実施されている箇所があります。そうしたスマートICでは、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、それらを考慮したルート計算は行っていません。ご利用の際はご注意ください。

※4 渋滞情報を考慮するには、三菱自動車純正 VICS光/電波ビーコン受信機が接続されている必要があります。

- 有料優先 を選択しても、有料道路を使わないルートが設定される場合があります。
- 一般優先 を選択しても、有料道路を使うルートが設定される場合があります。
- 道路状況によっては、計算条件を変えても同じルートが設定される場合があります。また、道路状況によっては設定どおりのルートが計算されない場合があります。
- 有料条件／一般条件で 統計渋滞考慮 を選択した場合の到着予想時刻は、 統計渋滞考慮 以外を選択した場合の到着予想時間より遅くなることがあります。
- 現在地が有料道路上にある場合、または近くに有料道路がある場合は、一般道路と有料道路のどちらを走行しているかを確認する画面が表示されます。走行している道路のキーをタッチすると、その条件で計算されます。
- スマートICは、ETC車載器を搭載した車両のみご利用できます。
- 計算条件画面でスマートICをオンの状態に設定した場合に、スマートICを含むルートの計算を行うと確認画面が表示されます。営業時間を確認して、 はい または いいえ を選択してください。

経由地ごとに優先路を設定する

経由地を設定した場合は、区間ごとに優先路を設定できます。経由地の設定については、「**経由地を追加する**」(P.175) をご覧ください。

1 ［区間設定］の する をタッチする

2 経由地ごとの優先路を設定する

3 決定 をタッチする

4 計算 をタッチする

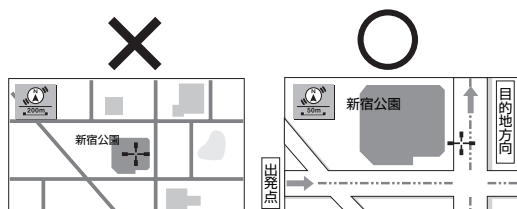
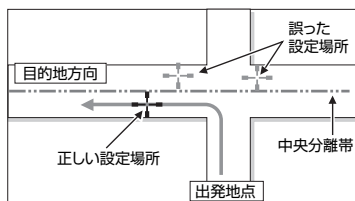
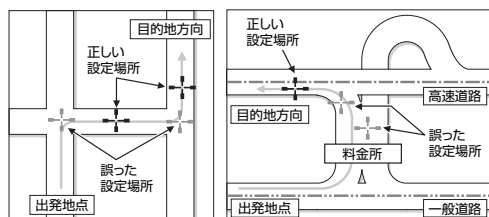
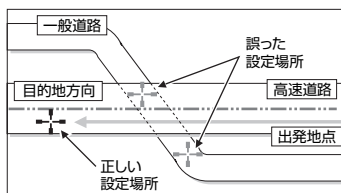
設定した条件でルートが再計算されます。

設定したルートを編集する

経由地の設定をする

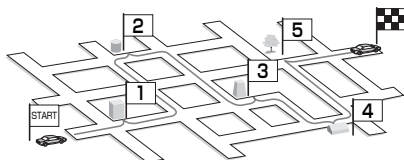
ルートの途中で寄り道をしたいときなど、ルートに経由地を5つまで設定できます。設定された順番に経由地を通り、目的地に向かうルートが計算されます。また、目的地の位置を修正することもできます。
経由地を設定してルートを変える際には、以下のことにご注意ください。

1. 経由地を設定するときは、国道・主要地方道路・都道府県道路・主要一般道路・高速道路・有料道路に設定してください。

2. 施設を経由地として設定した場合、経由地までの道路が細街路のときは、施設近くの経路対象道路を通るルートが計算されます。

3. 上下線や一方通行路に経由地を設定するときは、車線を正確に設定してください。

4. 交差点やインターチェンジなどに経由地を設定しないでください。交差点やインターチェンジ付近に経由地を設定したい場合は、目的地方向に少し離れた道路上に設定してください。

5. 高速道路と一般道路が交差している場所や、高速道路が一般道路上に高架になっている道路には、経由地を設定しないでください。

- 設定した経由地を通過しないで先に進んだ場合、通過しなかった経由地に向かって、ルートが自動的に設定されることがあります。
- ルート編集後に計算条件画面で 計算 をタッチせずに終了すると、設定済みのルートは計算されず、ルート案内は始まりません。

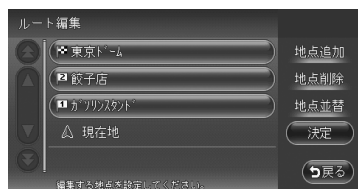
経由地を追加する

最大で5つまでの経由地を設定できます。

• 経由地を設定すると、複数ルートの計算や、出発時刻を指定しての計算はできません。

ここまでの操作

ルート ▶ ルート編集

• 地点メニューの 経由地追加 をタッチして、手順2に進んでも同様の操作です。

1 地点追加 をタッチする

1つめの経由地を設定するときは、手順3に進みます。

2つめ以降の経由地を設定する場合は、手順2に進みます。

2 追加したい箇所の ◀追加 をタッチする

3 経由地を探す

探し方は、目的地を探す方法と同様です。詳しくは「目的地の設定」(P.139)をご覧ください。

4 決定 をタッチする

編集内容が確定し、計算条件画面が表示されます。

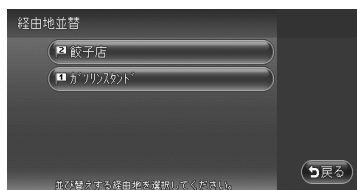
5 計算 をタッチする

経由地が追加され、新しいルートが設定されます。

経由地の順序を並べ替える

複数の経由地を設定した場合、経由地の順番を並べ替えられます。

1 地点並替 をタッチする

2 順序を変えたい地点をタッチする

3 地点を移動したい位置の ◀移動 をタッチする

4 戻る をタッチする

5 決定 をタッチする

編集内容が確定し、計算条件画面が表示されます。

6 計算 をタッチする

経由地の順番が変わり、新しいルートが設定されます。

目的地、経由地の位置を修正する

ルートに設定した目的地や経由地の位置を変えたり、調整できます。

ここまでの操作
ルート ▶ ルート編集

1 位置を調整したい地点をタッチする

2 位置調整 または 検索から変更 をタッチする

位置調整 ：
地図画面が表示され、スクロールして位置を修正します。

検索から変更 ：
目的地検索と同様の方法で、位置を修正できます。

3 選択した方法で位置を修正し、決定 をタッチする

4 決定 をタッチする
編集内容が確定し、計算条件画面が表示されます。

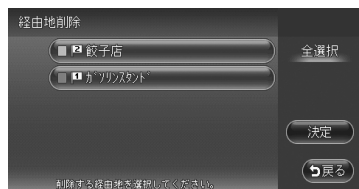
5 計算 をタッチする
目的地または経由地の位置が調整され、ルートが計算されます。

経由地を削除する

設定した経由地をルートから削除します。

ここまでの操作
ルート ▶ ルート編集

1 地点削除 をタッチする

2 削除したい地点を選択し、決定 をタッチする

- 複数の地点を選択できます。

3 はい をタッチする

4 決定 をタッチする
編集内容が確定し、計算条件画面が表示されます。

5 計算 をタッチする
経由地が削除され、新しいルートが計算されます。

設定したルートを削除する

目的地を解除する

目的地を解除すると、経由地も同時に削除されます。

1 確認画面で はい をタッチする

目的地が解除され、ルート誘導が中止されます。

設定したルートを確認する

走行する前に設定したルートを確認できます。

- 走行中にルートの確認はできません。必ず車を安全なところに停車して操作してください。
- 地図をスクロールした状態では、ルートの確認はできません。

ルートを表示する

地図上でルートを確認する

ここまでの操作

ルート ▶ ルート確認

ルート確認画面が表示されます。

自動後退 、 自動前進 ：

ルートを自動的に前進または後退させます。 解除 をタッチすると自動後退、自動前進が止まります。

後退 、 前進 ：

タッチしている間、ルートを前進または後退させます。

- 立体地図表示時は、自動的に平面地図に切り替わって表示されます。
- 走行を始めると、ルート確認は解除され、現在地地図画面が表示されます。
- 自動前進または自動後退時に、地図の拡大／縮小はできますが、詳細に大きさは変えられません。

ルートの全体を確認する

ここまでの操作

ルート ▶ ルート確認

1 全ルート表示 をタッチする

現在地から目的地までの全ルートが表示されます。

この画面では、地図の拡大／縮小、スクロールができます。

ルートをデモ走行する

ここまでの操作

ルート ▶ 走行デモ

デモ走行が自動的に始まります。

- デモ走行中でも地図スクロールやメニューの操作を行えます。
- デモ中止 をタッチすると、デモ走行を中止できます。
- 再度 走行デモ をタッチすると、デモ走行を中止できます。
- 走行を始めると、ルート確認は解除され、現在地地図画面が表示されます。

ルート上の情報を確認する

目的地の地図を表示する

目的地の地図を表示できます。

ここまでの操作
ナビゲーションコントロールバーの
経路情報

1 目的地表示 をタッチする

目的地の地図が表示されます。

• この画面から、目的地の変更や修正はできません。

次の案内地点を表示する

ここまでの操作
ナビゲーションコントロールバーの
経路情報

1 次の案内 をタッチする

現在地から次の案内地点までの地図と、案内地点の拡大地図が表示されます。

渋滞情報を表示する

渋滞のあるルートと現在地の距離により、表示される情報の種類が異なります。
現在地から2km以内：
渋滞の起点までの地図※、起点までの距離と渋滞距離、音声案内が案内されます。
現在地から2km ～ 10km以内：
音声でのみ案内されます。
現在地から10km以上先：
案内されません。

※渋滞の長さに応じて、地図の大きさが100m/200m/500m/1kmの4段階で自動的に切り替わって表示されます。

• ナビゲーションの設定で音声案内を「しない」に設定している場合でも、渋滞情報は音声案内されます。
• 渋滞の距離が短い場合は、地図上に表示されていても音声案内がされないことがあります。
• VICS情報更新時は、現在地地図画面に戻ります。

ここまでの操作
ナビゲーションコントロールバーの
経路情報

1 渋滞情報 をタッチする

現在地から渋滞の起点までの地図が表示され、音声でも案内されます。

• 画面上部に現在地から渋滞の起点までの距離と渋滞距離が表示されます。

ルートの設定と誘導

音声案内をもう一度聞く

1つ前の音声案内を、再度流します。

- ナビゲーションの設定で音声案内を「しない」に設定している場合は、本操作を行えません。ナビゲーションの設定については、「音声案内の設定をする」（P.275）をご覧ください。
- 音声案内の対象となる地点を通過した後は、通過した地点に対する音声案内はされません。

ここまでの操作
ナビゲーションコントロールバーの
経路情報

1 再音声 をタッチする

現在地地図画面が表示され、1つ前にされた音声案内が再度案内されます。

60km以内の誘導情報を確認する

60km以内にある、信号の有無、案内地点といったルート上の情報を確認できます。

- 表示される料金は、実際の料金と異なる場合があります。

ここまでの操作
ナビゲーションコントロールバーの
経路情報

1 誘導情報 をタッチする

2 案内地点をタッチする

案内地点確認画面が表示されます。

- 以下の情報が表示されます。
  目的地までの距離／到着予想時間／全料金／有料道路施設の名前／自車位置から案内地点までの距離／交差点の名前／信号機の有無／案内区間の渋滞情報／案内区間の所要時間
- （信号機アイコン）、（旗アイコン） は、以下の場合に表示されます。
  ルートが増加した車線を通る／ 5車線以上ある交差点／ 5差路以上ある交差点／ルートが狭角で右左折する案内地点
- ルートによっては、直近区間料金が表示される場合があります。

情報を利用する

FM VICS情報やビーコンVICS情報など、さまざまな交通情報を受信して、ドライブに役立てられます。車のメンテナンス情報やSDD（Silicon Disk Drive）の情報、ETC履歴の情報などもご活用ください。

情報メニューを見る ……………………………………… 184

情報メニューを見る

VICSを利用して、渋滞情報などの交通情報を確認できます。また、車のメンテナンスに関する情報をお知らせすることもできます。

ここまでの操作

タッチキー	情報の内容	参照ページ
FM VICS	FM VICSで受信した渋滞情報や所要時間、緊急情報などを表示する	P.187
ビーコン	光ビーコンや電波ビーコンから受信した交通情報などを表示する（別売のVICS光/電波ビーコン受信機接続時）	P.190
交通情報	交通情報（ラジオ）を受信する	P.192
SDD情報	本機のメモリー情報を表示する	P.193
メンテナンス	車のメンテナンスに関する情報をお知らせするための設定をする	P.194
ETC	ETCの履歴や情報を表示する（別売のETC車載器接続時）	P.197
VICS設定	VICSに関する設定メニュー画面を表示する	P.277
高速道交通情報 一般道交通情報	渋滞情報表示のON/OFFを切り替える	P.279

- 別売品について、詳しくは三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

- 走行中は選択できる項目が限定されます。

FM VICS情報を利用する

VICS(Vehicle Information and Communication System)とは、日本道路交通情報センターからの情報をもとにした道路情報サービスです。
また、VICS画面、VICS情報のランドマーク、受信マークについては、「VICS情報画面の見かた」(P.52)、「VICS受信画面」(P.137)をあわせてご覧ください。

FM VICS情報について

渋滞情報、所要時間、事故情報、道路工事情報などが数分ごとに更新され、更新された情報が本機に表示されます。
本機は、内蔵のFM多重受信機でNHK-FMなどのFM文字多重放送を受信し、広域の交通情報を表示します。

- 表示されるFM VICS情報は、あくまでも参考です。実際の交通規制や道路状況を確認してください。

- VICS画面、VICS情報のランドマークおよび受信マークについては、「VICS情報画面の見かた」(P.52)、「VICS受信画面」(P.137)をご覧ください。

■FM VICS情報の更新に伴う表示変更について

ナビゲーションおよび地図ソフトを購入して3年ほど経過すると、地図画面で渋滞情報が表示されない場所が出る場合が次第に増えます。この現象が起きるのは、レベル3の地図情報のみで、レベル1の文字情報・レベル2の図形情報では従来どおり表示されます。
この現象の原因は、VICSセンターの採用するVICSリンク(主要交差点ごとに道路を区切った単位)というデータ方式にあります。道路の新設や改築、信号機の設置などで交通情報が変化する場合は、適宜VICSリンクの追加や変更が行われます。そのため、新しいVICSリンクによって提供された情報は、変更前のVICSリンクでは表示されなくなります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更後の3年間は、旧VICSリンクにも従来どおりの情報を提供する仕組みになっています。
VICSリンクは毎年更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめいたします。
現在お使いのナビゲーションまたは地図ソフトの対応などにつきましては、三菱自動車販売会社にお問い合わせください。また詳しくは、「VICSシステムの問い合わせ先」(P.375)をご覧ください。

VICS情報	詳細
情報提供時間※1	FM多重、VICS光、電波ビーコンともに24時間
情報の種類	渋滞情報：渋滞区間を表示します。
	所要時間情報：主要地点間の現在の所要時間を表示します。
	交通障害情報：事故、故障車、路上障害物、工事、作業などについてお知らせします。
	交通規制情報：通行止め、速度規制、車線規制などの臨時規制とその原因についてお知らせします。
	駐車場情報：駐車場、SA/PAの満車・空車情報についてお知らせします。
情報画面の種類※2	文字情報※3(レベル1)
	図形情報(レベル2)
	地図情報(レベル3)

※1 メンテナンスなどで、情報提供を休止する場合があります。
※2 画面例については、P.188をご覧ください。
※3 発信していない地域もあります。

FM VICS情報を見る

ここでは、文字情報で渋滞情報を表示させる手順を例として説明しています。NHK-FM受信時の操作です。

- 民放のFM文字多重放送局を受信しているときは、タッチキーが「見えるラジオ」や「アラジン」と表示され、FM VICS以外の情報を楽しめます。
- FM VICS情報を受信する放送局の設定については、「VICS情報の設定をする」（P.277）をご覧ください。
- 地図の大きさを詳細に変えているときは、各FM VICS情報が表示されない場合があります。
- FM VICS情報が更新されていない場合は、更新前に受信した情報が表示されます。
- エンジンスイッチまたはパワースイッチをLOCKにして、約1時間経過した場合、または新たにFM VICS情報を受信できない場合、VICS情報は消去されます。
- VICS情報を受信すると、『VICS情報を受信しました』とアナウンスされるよう設定することもできます。2回目以降のアナウンスは、『ポーン』という音でお知らせします。アナウンスを設定したい場合は、「VICS情報の設定をする」（P.277）をご覧ください。

- VICS情報を非表示にすることもできます。詳しくは「VICS情報の設定をする」（P.277）をご覧ください。

ここまでの操作

 ▶ FM VICS

1 見たい情報をタッチする

文字情報 ：

渋滞情報を表示する※

図形情報 ：

渋滞情報を図形表示で確認する

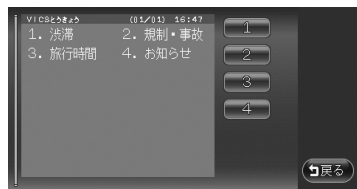
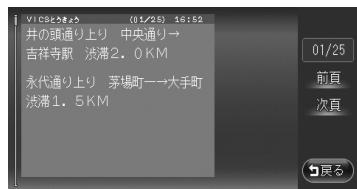
所要時間 ：

各地への所要時間を見る

緊急情報 ：

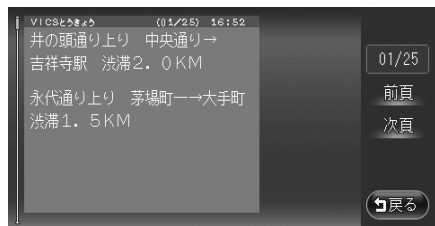
FM VICS情報から受信した緊急情報を見る

※地域によっては、情報が発信されない場合があります。

2 見たい項目の番号をタッチする

FM VICS情報が表示されます。

FM VICS情報の種類

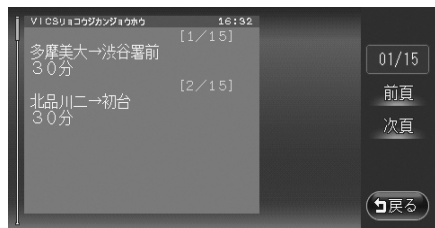
本機で表示できるFM VICS情報画面は、以下のとおりです。

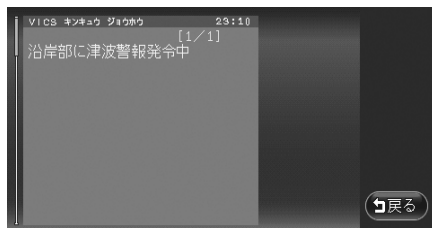
文字情報

渋滞情報などが文字で表示されます。

図形情報

渋滞情報が図形で表示されます。

所要時間

各地への所要時間が表示されます。

緊急情報

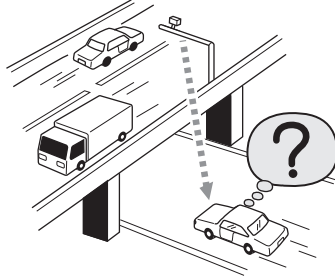
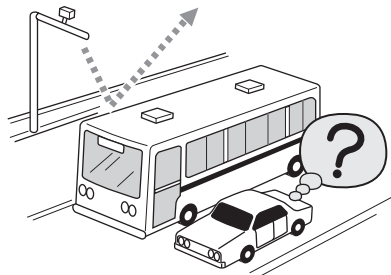
緊急情報が表示されます。

ビーコンVICS情報を利用する

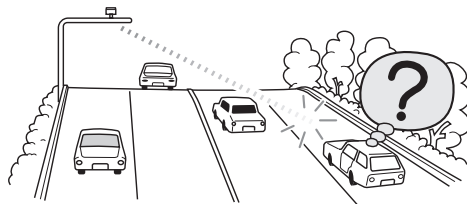
別売の三菱自動車純正 VICS光/電波ビーコン受信機接続時に受信できる情報です。

ビーコンVICS情報について

VICS光/電波ビーコン受信機から受信した最新の簡易図形情報や災害発生時の緊急情報は、自動的に表示され、しばらくすると消えます。また、音声でもお知らせします。
消えた後に、再度最新VICS情報を表示させるには、「ビーコンVICS情報を見る」（P.190）からの手順で手動で表示させます。
ビーコンVICS情報は、車の走行状態や状況により、受信できなかったり、誤受信することがあります。
ビーコン情報の受信については、以下の点にご注意ください。

■一般道路走行中には

- 高速道路と交差する道路や、近くを平行して走る道路などでは、高速道路のVICS情報を受信することがあります。

- 道路に設置されているVICS光・電波ビーコン発信機との間に大型車両などがいる場合には、VICS情報を受信できないことがあります。
- VICS光・電波ビーコン受信状況により、VICS情報が受信しにくかったり、対向車線のVICS情報を受信することがあります。

■高速道路走行中には

- トンネル内や幅員の広い道路では、VICS情報を受信できないことがあります。
- 道路に設置されているVICS光・電波ビーコン発信機との間に大型車両などがいる場合には、VICS情報を受信できないことがあります。
- 豪雪や豪雨時などには、VICS情報を受信しにくいことがあります。

ビーコンVICS情報を見る

ここでは、ビーコンVICS情報の文字情報を見る方法を例として説明しています。

ここまでの操作

ビーコン

1 見たい情報をタッチする

文字情報 ：

渋滞情報を表示する

図形情報 ：

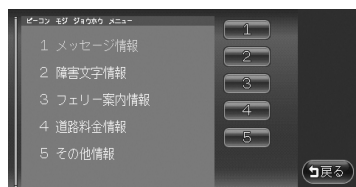
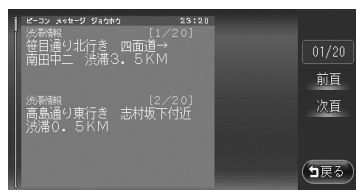
渋滞情報を図形表示で確認する

所要時間 ：

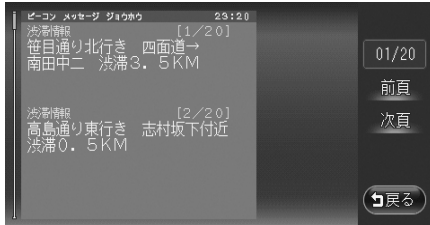
各地の所要時間を見る

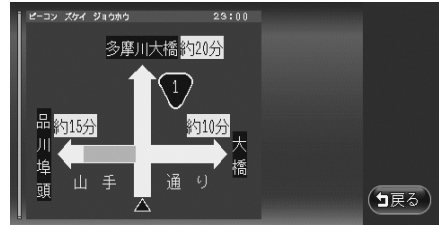
注意警戒 緊急情報 ：

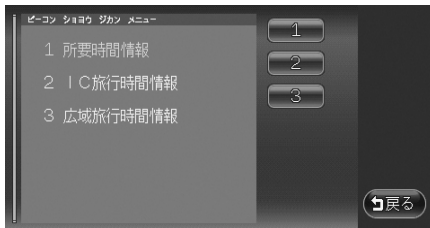
ビーコン情報から受信した緊急情報／注意警戒情報を見る

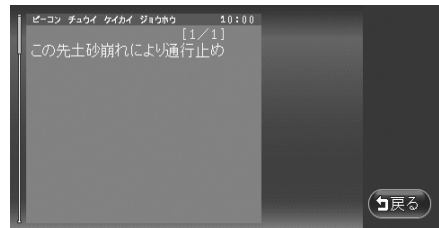
2 見たい項目の番号をタッチする

ビーコンVICS情報が表示されます。

ビーコンVICS情報の種類

文字情報

渋滞情報などの文字情報が表示されます。

図形情報

渋滞情報が簡易な図形で表示されます。

所要時間

各地の所要時間が表示されます。

注意警戒情報

通行止めなどの注意警戒情報が表示されます。

緊急情報

警報発令などの緊急情報が表示されます。

ラジオの交通情報を受信する

ここまでの操作

[ ] ▶ 交通情報

交通情報を受信します。

AVコントロールバーから受信する周波数を選択するときは、 1620 または 1629 をタッチします。

- AV操作キーに、「TI」と表示されます。
- AVコントロールバーの 解除 をタッチすると、交通情報を聞く前に使っていたオーディオに戻ります。

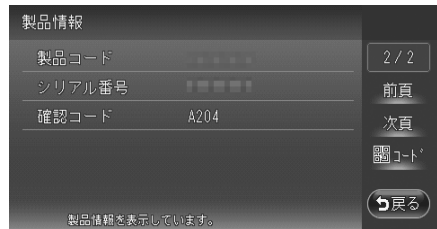
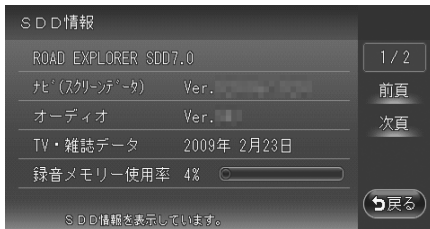
本機の情報を見る

ここまでの操作

[Yi] ▶ SDD情報

SDD※情報（メモリー情報）画面が表示されます。

次頁 をタッチすると本機の製品情報が表示されます。

※Silicon Disk Driveの略
　フラッシュメモリ（半導体メモリ）を利用してハードディスクと同じような機能をもつ装置の総称です。

SDD情報画面には、ナビゲーションアプリケーション（スクリーンデータ）のバージョン情報、オーディオアプリケーションのバージョン情報、TV・雑誌データの最終更新日、ミュージッククキャッチャーのメモリー使用率などが表示されます。

製品情報画面には、地図のバージョンアップに使用する確認コードなどが表示されます。

- 製品情報画面で コード をタッチすると、製品情報をバーコード表示します。
- 製品情報は、クラリオン株式会社Webサイト「チズルとススム」（http://chizu-route-susumu.jp）で会員登録する際に必要となります。あらかじめ、製品コード、シリアル番号、確認コードをお控えになるか、 コード をタッチして表示される2次元バーコード（QRコード）を携帯電話に読み取ってご登録ください。コードの読み取り操作については、お手持ちの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

メンテナンス情報を利用する

あらかじめ日付や距離を設定しておくことで、車のオイルや消耗品の交換、点検、免許更新などの時期を通知できます。
設定できるメンテナンス項目は、以下のとおりです。各項目に対して、日付、距離、お知らせ設定、更新間隔設定／更新機能を設定できます。

オイル関連	エンジンオイル交換、オイルフィルター交換、ミッションオイル交換、ブレーキオイル交換
タイヤ関連	空気圧チェック、タイヤローテーション、タイヤ交換
消耗品	ワイパーブレード、エアクリーナー、クーラント、バッテリー（補機用）、ブレーキパッド
点検・車検	車検※1、定期点検※1
免許証・保険	免許証更新、自動車保険更新
オリジナル1～3※1※2	

※1 日付とお知らせ設定のみを設定できます。
※2 任意の項目を設定できます。

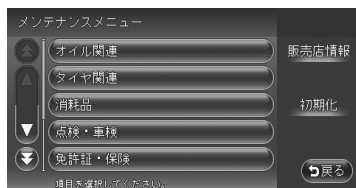
- お車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と、実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。

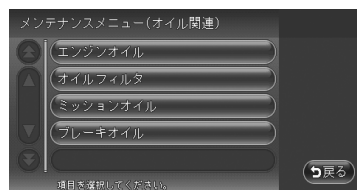
お知らせ設定をする

メンテナンス時期を設定する方法について説明しています。
ここでは、エンジンオイル交換のメンテナンス時期を設定する方法を例として説明しています。

ここまでの操作

▶ メンテナンス

1 オイル関連 をタッチする

- オリジナル1 、 オリジナル2 、 オリジナル3 をタッチした場合は、手順3に進んでください。

2 エンジンオイル をタッチする

3 各項目を設定する

設定した年月日や走行距離に達すると、次に本機を起動したときにメッセージが表示されます。詳しくは、「**メンテナンス時期がお知らせされたら・・・**」（P.195）をご覧ください。

- 更新 をタッチすると、お知らせ日が設定した更新間隔で更新され、走行距離が0に戻ります。

設定できる項目は以下のとおりです。設定項目の内容は、メンテナンス項目によって異なります。

お知らせ表示：

メンテナンス時期をお知らせ表示するかどうかを設定できます。

更新間隔：

1ヶ月単位でお知らせする更新間隔を設定できます。

お知らせ日：

お知らせする日を設定できます。

お知らせ距離：

お知らせする走行距離を設定できます。計測される走行距離と実際の走行距離では誤差が生じる場合があります。

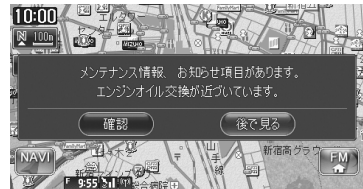
名称※：

メンテナンス項目の名前を設定できます。

※手順1で オリジナル1 、オリジナル2 、オリジナル3 を選択したときのみ表示されます。

■メンテナンス時期がお知らせされたら…

メンテナンス項目が設定され、メンテナンス時期に達すると、お知らせのメッセージが表示されます。

1 確認 をタッチする

- 後で見る をタッチすると、後からメンテナンス項目を確認できます。「お知らせ設定をする」（P.194）の手順1、2で ! が表示されている項目がお知らせされた項目です。更新 をタッチすると、 は消えます。

2 項目をタッチする

次のメンテナンス時期を設定します。詳しくは、「**お知らせ設定をする**」（P.194）をご覧ください。

- お店へ行く をタッチすると、登録した販売店までのルートが設定されます。詳しくは、「販売店情報を登録する」（P.196）をご覧ください。

販売店情報を登録する

販売店の情報を登録しておくと、メンテナンス情報お知らせ時に販売店へルート案内できます。

ここまでの操作

▶ メンテナンス ▶ 販売店情報

1 販売店登録 をタッチする

三菱自動車販売会社のリストが表示されます。

2 販売店を選択してタッチする

3 決定 をタッチし、はい をタッチする

4 販売店を設定する

販売店が登録されます。設定した販売店の名称、電話番号、位置は自動で入力されます。

- 販売店の名前や電話番号、担当者を編集したい場合は、販売店情報画面で各項目をタッチして入力してください。

■販売店を登録したら

販売店情報を登録したあとの販売店情報画面およびお知らせ項目確認画面には、お店へ行く が表示されます。タッチすると、販売店までの地図と地点メニューが表示されます。
地点メニューの ここに行く をタッチすると、販売店までのルートが設定されます。

ETC情報を利用する

本機能をご利用いただくには、三菱自動車純正ETC車載器（別売）、ETC接続ケーブル（別売）およびETCカードが必要です。
ただし、ETC車載器のモデルによっては接続できない場合がありますので、詳しくは三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

- ETC利用料金や利用履歴については、次の内容においてもご確認をお願いいたします。
  ※ クレジット会社から発行される利用明細
  ※ ETCマイレージサービスのユーザー登録後に利用することのできる照会サービス

ETC情報とは

ETC情報とは、ETC車載器が受信する、ETCの料金情報や予告案内、警告情報です。料金所ゲートを通過するときに、ETC情報を受信し、画面表示と音声で案内されます。
案内の画面表示時間を変えたり、音声案内をするかしないかの設定については、「ETCの設定をする」（P.281）をご覧ください。

■ETC情報の画面表示

ETC車載器からの料金情報を受信すると、料金案内が表示されます。表示内容はナビゲーション画面、オーディオ画面とも同様です。

- 地図をスクロールするかいずれかのキーをタッチすると、ETC情報は消えます。

■予告案内／警告表示

ETC車載器からの予告案内、警告情報を受信すると、予告案内または警告情報が表示されます。内容は以下のとおりです。

●予告案内

料金所に予告アンテナ／ ETCカード未挿入お知らせアンテナが設置されている場合のみ表示されます。

- **「ETCがご利用できません」**
- **「ETCがご利用可能です」**

●警告

- **「ETCカードを確認してください」**
  ETCカードが故障、またはカードがETCカードでないときに表示されます。
- **「ETCに異常が検出されました　販売店に連絡してください」**
  ETC車載器の異常により、本機との接続ができないときに表示されます。
- **「ETCカードを挿入してください」**
  「ETCの設定をする」（P.281）のETCカードを入れ忘れ警告を「する」に設定した場合、本機起動時に表示されます。
- **「ETCユニットがセットアップされていません」**
  ETC車載器本体がセットアップされていないときに表示されます。

■ETCレーン図

料金所の2km手前にさしかかると、ETCレーン図が自動的に表示されます。ETCレーン表示は時間帯によって異なることがあるので、必ず実際の表示に従ってください。

- ETCレーン図は、表示されない場合があります。
- ETCレーン図は、ETC車載器未接続時にも表示されます。

●料金案内

ETCゲート通過時のみ、音声で料金案内されます。料金所手前では料金案内されません。

ETC情報の履歴を見る

走行中に ETC をタッチしても、ETCメニューは表示されません。最後に課金されたETCの金額が再度音声で案内されます。

ここまでの操作

 ▶ ETC

1 履歴 または 最新利用履歴 をタッチする

ETC情報が表示されます。

- セットアップ情報 をタッチすると、ETC車載器のセットアップ情報が表示されます。

ETC履歴画面

最新利用履歴画面

- ETC情報の履歴は、ETCカードが差し込まれている場合に、新しい利用履歴から最大100件分を確認できます。

情報を利用する

ETC料金を割り勘にする

ETC情報の履歴の中から履歴を指定して、希望の人数で割った金額を算出できます。また、駐車料金などの調整金額を含めて算出することもできます。

- ETC履歴のICランプ情報が不明の場合、または料金所が新規追加され情報が不足している場合は、「情報なし」と表示され、算出できない場合があります。
- 走行中はETC料金の精算はできません。

 ▶ ETC ▶ 精算

1 精算したい履歴を選択して、決定 をタッチする

- 日+ をタッチするごとに1日分ずつの履歴が選択されます。
- 日− をタッチするごとに選択した履歴を1日分ずつ解除します。

2 ＋ 、 − をタッチして、精算人数を入力する

1人あたりの支払い金額が表示されます。

3 ETC以外にかかった料金がある場合は、 金額入力(¥0) をタッチする

4 金額を入力して、 決定 をタッチする

1人あたりの金額が表示されます。

オーディオ・ビジュアル編

ラジオを聴く

本機では、FMラジオ・AMラジオを受信してお楽しみいただけます。
ラジオの基本的な操作方法については、P.89～ P.92をご覧ください。

よく聴く放送局を登録して利用する ……………… 202
ラジオの設定を変更する ……………………………… 205

よく聴く放送局を登録して利用する

プリセットチャンネルとは

現在走行中のエリアで受信可能な放送局の周波数を登録できるチャンネルです。何度も周波数を合わせることなく、ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。
プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の２種類があります。詳しくは「放送局をリストに登録する」（P.203）をご覧ください。

受信バンドを活用する

地域によって放送局が異なる場合に､そのエリア内でのプリセットチャンネルを「ホーム」､「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。
たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は､「ホーム」に東京､「お出かけ」に大阪の放送局を登録しておけば、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信することができます。

それぞれのキーをタッチすると、放送局リストの表示が切り替わります。

放送局をリストに登録する

よく聴く放送局を放送局リストにプリセット（あらかじめ周波数を本機に記憶させておくこと）できます。放送局リストは、AMラジオ、FMラジオともに、ホームモードとお出かけモードの2種類があります。登録できる放送局は、それぞれのモードで8つまでです。

- ホーム 、 お出かけ をタッチしてモードを切り替えると、2種類の放送局リストを登録できます。

手動で登録する

ここまでの操作

リスト

1 ⏮ または ⏭ をタッチして、登録したい放送局を受信する

2 登録するチャンネルを、「ピーッ」という音がするまでタッチし続ける

受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。

- 登録した放送局を聴くには、「選局する」（P.204）をご覧ください。

自動で登録する（オートストア）

ここまでの操作

リスト

1 AS をタッチする

2 はい をタッチする

受信可能な放送局が、自動的に上書き登録されます。

- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。中止するには、 AS中止 をタッチします。
- 登録した放送局を聴くには、「選局する」（P.204）をご覧ください。

放送局リストを利用する

選局する

登録した放送局を、放送局リストから選局します。

ここまでの操作

リスト

1 目的の放送局をタッチする

選択した放送局が受信されます。

- 操作パネルの ＜ または ＞ を押して、放送局を切り替えることもできます。
- AMラジオ、FMラジオを切り替えるには、「AM/FMを切り替える」（P.92）をご覧ください。

放送局名を編集する

登録した放送局の名称を編集できます。

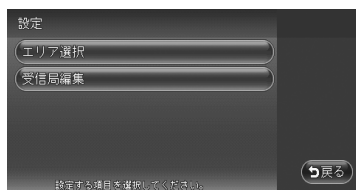
- 走行中は本操作を行えません。
- 「お出かけ」モードに設定されている場合は、放送局名は表示されますが編集はできません。

ここまでの操作

リスト

1 名称を変えたい放送局をタッチする

2 設定 をタッチする

3 受信局編集 をタッチする

4 放送局名 をタッチする

5 放送局を入力し、決定 をタッチする

受信エリアを切り替える

• 走行中は本操作を行えません。

エリアを切り替える

受信エリアを正しく設定することで、受信中の放送局名を自動的に表示できます。

ここまでの操作

リスト

1 設定 をタッチする

2 エリア選択 をタッチする

3 エリアをタッチする

放送局エリアが切り替わります。

- ユーザータイトルを使用 をタッチすると、ご自分で登録した放送局名（P.204）を表示できます。
- 「お出かけ」モード選択時は、ユーザータイトルを使用 は表示されません。

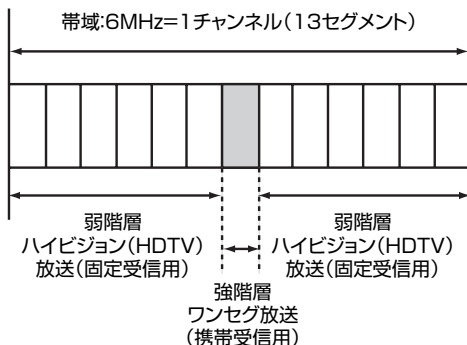
オーディオ・ビジュアル編

テレビを観る

本機では、地上デジタル放送（ワンセグ）のテレビをお楽しみいただけます。
テレビの基本的な操作方法については、P.93〜 P.96をご覧ください。

ワンセグとは …………………………………………… 208
よく観る放送局を登録して利用する ……………… 210
地上デジタル放送の受信設定を変更する ………… 214

ワンセグとは

地上デジタル放送はUHF帯域の電波を使っており、6MHzを1つのチャンネルとして割り当てられています。これを13のセグメントに分割して、画質により携帯受信向けの簡易動画放送（強階層）、固定受信向けのHDTV放送（弱階層）に分類しています。このうちのモバイル端末（携帯電話など）の強階層に割り当てられている「1つのセグメント」を使って放送を行うことから「ワンセグ放送」と呼ばれています。

フルセグの地上デジタル放送を観るには

本機では、ワンセグの地上デジタル放送のみをお楽しみいただけます。フルセグ（12セグ）の地上デジタル放送をお楽しみいただくには、別売の地上デジタル放送チューナーが必要です。本機でご利用いただける地上デジタル放送チューナーについては、販売店にお問い合わせください。

ワンセグマルチチャンネル放送について

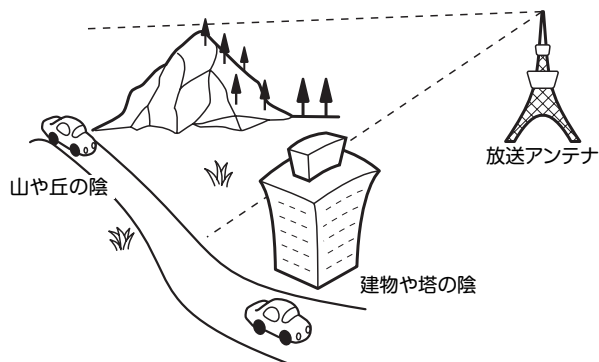
ワンセグに使用している1セグメントをさらに切り分けて、2つの別々の番組を視聴することができるサービスです。

	A 放送局	
	○○○ch	△△△ch
6 時	プロ野球中継	
7 時	プロ野球	ニュース
8 時	映画	

上記の例では、6時台は、○○○chと△△△chを使い、プロ野球を放送。7時台は○○○chではプロ野球、△△△chではニュースを放送。8時台は、○○○chと△△△chを使い映画を放送。
上記の例では、○○○chをメインチャネル、△△△chをサブチャンネルと呼びます。

テレビ放送の受信について

テレビをご覧になるにあたって、以下のような現象が起こることがあります。

●車の移動によって、建物や山などの障害物に影響されて電波の強さが変わり、受信状態が悪くなることがあります。
●放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。
●電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたりする場合があります。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは、順次拡大されます。地上アナログ放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。

よく観る放送局を登録して利用する

プリセットチャンネルとは

現在走行中のエリアで受信可能な放送局を登録できるチャンネルです。何度もチャンネルを合わせることなく、ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。
プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の２種類があります。詳しくは**「放送局をリストに登録する」**（P.211）をご覧ください。

受信バンドを活用する

地域によって放送局が異なる場合に、そのエリア内でのプリセットチャンネルを「ホーム」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。
たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は、「ホーム」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を登録しておけば、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信することができます。

それぞれのキーをタッチすると、放送局リストの表示が切り替わります。

放送局をリストに登録する

よく観る放送局を放送局リストにプリセット（あらかじめ放送局を本機に記憶させておくこと）できます。放送局リストは、ホームモードとお出かけモードの2種類があります。登録できる放送局は、それぞれのモードで12個までです。

- ホーム 、 お出かけ をタッチしてモードを切り替えると、2種類の放送局リストを登録できます。

手動で登録する

ここまでの操作

リスト

1 ⏮ または ⏭ をタッチして、登録したい放送局を受信する

2 登録するチャンネルを、「ピーッ」という音がするまでタッチし続ける

受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。

- 登録した放送局を観るには、「選局する」（P.212）をご覧ください。

自動で登録する（オートストア）

ここまでの操作

リスト

1 AS をタッチする

2 はい をタッチする

受信可能な放送局が、自動的に上書き登録されます。

- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。
- 登録した放送局を観るには、「選局する」（P.212）をご覧ください。

放送局リストを利用する

選局する

登録した放送局を、放送局リストから選局します。

ここまでの操作

リスト

1 目的の放送局をタッチする

選択した放送局の番組が受信されます。

- 操作パネルの ＜ または ＞ を押して、放送局を切り替えることもできます。
- 映像画面をタッチして表示される放送局リストからも、同様の操作ができます。

メインチャンネル／サブチャンネルを選局する

メインチャンネルとサブチャンネルの切替

受信中のチャンネルにサブチャンネルが存在する場合「マルチチャンネルインジケータ」が表示されます。

サブチャンネルが存在する場合に、［＞］をタッチすると、サブチャンネルに切り替わります。
（サブチャンネル受信中に［＜］をタッチすると、メインチャンネルに切り替わります）

- マルチチャンネルインジケータは、サブチャンネル受信中も表示されます。

地上デジタル放送の受信設定を変更する

複数音声放送、音声多重放送の音声の切り替えやエリアの設定など、地上デジタル放送（ワンセグ）に関する設定ができます。

• 走行中は本操作を行えません。

音声・エリアを切り替える

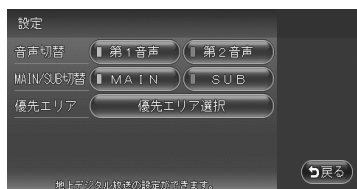
音声を切り替える

複数音声放送、音声多重放送で優先する音声を切り替えます。

ここまでの操作

リスト

1 設定 をタッチする

2 切り替えたい項目をタッチする

音声が切り替わります。

音声切替：

複数音声放送をご覧になる場合に優先する音声を、第１音声／第２音声から選択します。

MAIN/SUB切替：

音声多重放送をご覧になる場合に優先する音声を、MAIN（主音声）／ SUB（副音声）から選択します。

優先エリアを切り替える

県境などで自動で放送局を登録（オートストア）した場合、同じチャンネルに複数の放送局が重なってしまうことがあります。優先エリアを正しく設定することで、そのエリアのチャンネルが優先して登録されます。

• 優先エリアの初期設定値は東京です。東京以外の地域を優先エリアに設定した場合は、必ずその地域でオートストアを実行してください。
• 県境などでオートストアを実行した場合、エリア選択で優先された地域の放送局は、そのエリアの決められたプリセットチャンネルに登録されます。ただし、同時に検出された放送局が存在する場合は、未登録のプリセットチャンネルにそれぞれが割り振られます。
• 放送局が12局以上検出された場合は、13局目以降の放送局設定は破棄されます。

ここまでの操作

リスト

1 設定 をタッチする

2 [優先エリア] の 優先エリア選択 をタッチする

3 エリアをタッチする

優先エリアが切り替わります。

オーディオ・ビジュアル編

DVDを観る

本機では、市販されているDVDビデオ、またご家庭などで録画されたDVD-VRをお楽しみいただけます。DVDビデオとDVD-VRでは操作方法が異なります。ご利用になるDVDの種類に該当する箇所をご覧ください。
DVDの基本的な操作方法については、P.97～ P.102をご覧ください。

本機で使えるDVD ······································ 218
いろいろな再生方法 ······································ 219
いろいろな操作方法 ······································ 222
DVDビデオの初期設定を変更する ···················· 224

本機で使えるDVD

再生できるディスク

- DVD VIDEO のついているディスク
- リージョン番号が「2」「ALL」のディスク
- DVD-VR

再生できないディスク

- 8cmディスク
- 異形のディスク
- リージョン番号が「2」「ALL」以外のディスク
- パケットライト方式で記録されたディスク
- ご家庭でハイビジョン録画したディスク
- DVD-RAM
- デュアルディスク（Dual Disc）は、ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。

※ビデオモードで録画・ファイナライズしたDVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RWは、機器の仕様や環境設定、ディスクの特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。

DVDビデオの再生方法

タイトル･チャプター番号を入力して再生する

ここまでの操作
サーチ

1 タイトル番号またはチャプター番号を入力し、決定 をタッチする

チャプター ：
チャプター番号を入力するときにタッチします。

タイトル ：
タイトル番号を入力するときにタッチします。

2 戻る をタッチする

入力したタイトルまたはチャプターが再生されます。

メニューから再生する

DVDビデオディスクには、そのディスク特有のDVDメニュー（ディスクメニュー）が収録されているものがあります。ディスクメニューを利用して、本編や映像特典など、観たい映像をすぐに再生できます。表示されるメニューや操作方法は、各ディスクにより異なります。

ここまでの操作
メニュー操作

- 「操作はできません」と表示された場合は、DVDビデオのディスク自体にメニューが設定されていません。

1 トップメニュー または メニュー をタッチする

トップメニューまたは再生中のチャプターのメニューが表示されます。

2 ▲、◀、▶、▼ をタッチして、選択したいメニューにカーソルを移動し、決定 をタッチする

選択したメニュー項目が再生されます。

- 10キー をタッチすると、メニュー番号を直接入力してメニュー項目を選択できます。

DVD-VRの再生方法

DVD-VRのディスクでは、以下の方法で再生することができます。

- タイトルリストからタイトルを直接選択して再生する
- お手持ちのDVDレコーダーで作成したプレイリストから再生する

- プレイリスト…DVD映像の好みのシーンだけに編集し、独自に作成したタイトルのこと

タイトルリストから再生する

ここまでの操作

リスト

1 観たいタイトルをタッチする

選択したタイトルが再生されます。

- 番号指定 をタッチしてタイトル番号を入力すると、入力した番号が先頭になったタイトルリストが表示されます。

2 戻る をタッチする

リスト画面が消え、映像画面に切り替わります。

プレイリストから再生する

1 プレイリスト をタッチする

プレイリストがONになります。

2 リスト をタッチする

プレイリストが表示されます。

3 観たい項目をタッチする

選択した項目が再生されます。

- 番号指定 をタッチしてプレイリスト番号を入力すると、入力した番号が先頭になったプレイリストが表示されます。

4 戻る をタッチする

リスト画面が消え、映像画面に切り替わります。

リピート・スキャン再生をする

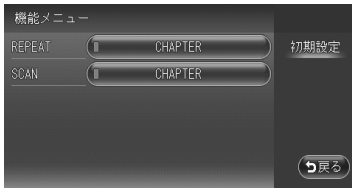
1つのチャプターまたはタイトルを繰り返して再生したり、10秒間ずつ順に再生できます。

• DVD-VRでプレイリストを利用して再生している場合は、リピート再生、スキャン再生を行えません。

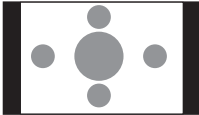
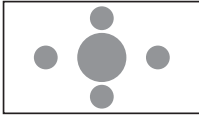
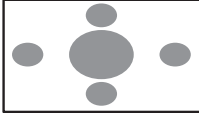
リピート･スキャン再生をする

ここまでの操作

機能

1 目的の項目の CHAPTER または TITLE をタッチする

2 戻る をタッチする

選択した動作で再生が始まります。

• 通常再生に戻すには、手順1を操作して、CHAPTER または TITLE をタッチしてオフの状態にします。
• スキャン再生は、早送り／早戻ししたときに自動的に解除されます。

画面サイズを切り替える

- 状態表示をオンに設定している場合は、画面サイズは常に「フルワイド」で表示されます。画面サイズを切り替える場合は、状態表示をオフに設定してください。（P.230）

ここまでの操作

画面切替

画面サイズを選択してタッチすると、選択したサイズで画面が表示され、通常の映像画面に戻ります。

設定項目	設定の内容
ノーマル	映像が縦横の比率を変えずに中央に表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、画面の余った部分が黒く表示されます。
ワイド	映像の左右部分が横に広がって画面いっぱいに表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合に違和感を少なく表示できます。
フルワイド	映像が画面いっぱいに表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。
シネマ	通常のテレビでシネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するときに使います。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の横部分と画面の横縦部分の大きさを合わせて表示されます。上下の余った部分が黒く表示されます。

字幕・音声・アングルを切り替える

DVDビデオの字幕言語・音声言語・アングルを切り替える

DVDに字幕、複数の音声およびアングルが収録されている場合のみ有効です。

ここまでの操作

モード

1 アングル 、 字幕 、 音声 のいずれかをタッチする

タッチするたびに字幕言語、音声言語、アングルの設定が切り替わります。

- 初期設定（P.224）で設定できる言語以外の言語が収録されている場合は、「その他」と表示されます。
- 「OFF」を表示させせると、字幕を消せます。

2 戻る をタッチする

設定が確定し、映像画面に戻ります。

DVD-VRの字幕表示・音声を切り替える

DVDに字幕、複数の音声が収録されている場合のみ有効です。

ここまでの操作

モード

1 字幕 または 音声 をタッチする

タッチするたびに、字幕または音声の設定が切り替わります。

- 画面上部に、現在の設定が表示されます。
- タッチするごとに音声が以下のとおりに切り替わります。
- ストリーム1→ストリーム2→出力チャンネルLL→出力チャンネルRR→出力チャンネルLR→ストリーム1

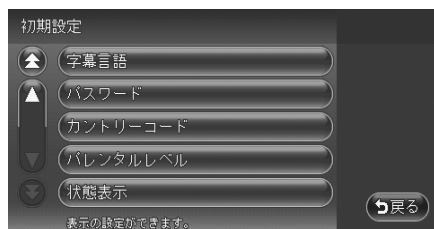
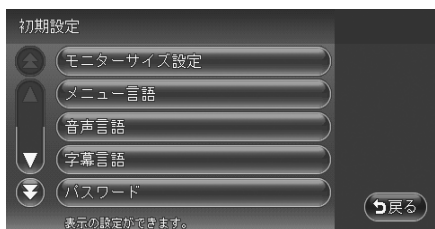
2 戻る をタッチする

設定が確定し、映像画面に戻ります。

DVDビデオの初期設定を変更する

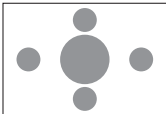
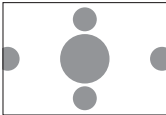
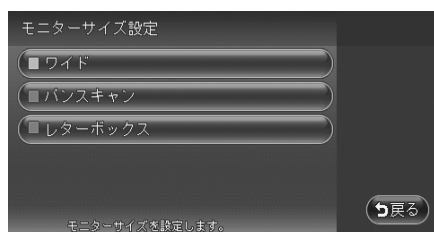
- 初期設定画面から各設定画面に移動すると、DVDの再生は停止します。設定終了後は、DVDの再生が始まりますが、設定内容によって再生が始まる位置が異なります。DVDの先頭から再生されることもあれば、設定前の場所から再生が始まることもあります。
- 以下の初期設定画面で何もせずに画面を閉じると、設定前の場所から再生が始まります。

ここまでの操作

機能 初期設定

設定項目	設定の内容	参照ページ
モニターサイズ設定	優先的に再生するモニターサイズを切り替える	P.225
メニュー言語	メニューで優先表示される言語を切り替える	P.226
音声言語	再生時に優先される音声言語を切り替える	P.226
字幕言語	優先的に表示される字幕言語を切り替える	P.226
パスワード	視聴制限の設定に必要なパスワードを設定・編集する	P.228
カントリーコード	視聴制限レベルを適用する国を設定する	P.229
パレンタルレベル	成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面に視聴制限をかける（視聴制限対応ディスクのみ）	P.229
状態表示	再生状態（タイトル番号、チャプター番号、再生時間）を表示するかしないかを設定する	P.230

モニターサイズを設定する

- 収録されているモニターサイズは、ディスクごとに異なります。モニターサイズを「パンスキャン」または「レターボックス」に設定しても、ディスクによっては自動的にどちらかで再生される場合があります。

ここまでの操作

機能 ▶ 初期設定 ▶ モニターサイズ設定

優先的に再生する画面サイズをタッチします。

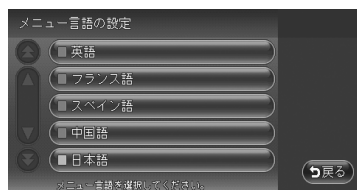
設定項目	設定の内容
ワイド	映像が画面にぴったり納まります。映像と画面の比率が違う場合は、変形して表示されます。映像が切れる部分はありません。
パンスキャン	画面の上下と映像の高さが合わせて表示されます。映像と画面の比率が違う場合は、映像の左右が切れて表示されます。
レターボックス	画面の横幅と映像の幅が合わせて表示されます。映像と画面の比率が違う場合は、上下に黒い帯が表示されます。

言語を設定する

メニュー･音声･字幕言語を設定する

再生時に優先する言語を、メニュー言語、音声言語、字幕言語のそれぞれについて設定できます。ここでは、メニュー言語の設定を例として説明しています。

- 本設定は、DVD再生時に優先する言語の設定です。必ずしも切り替えた言語で再生されるわけではありません。

1 言語をタッチする

- 英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語から選択できます。

パレンタルレベルとパスワードを設定する

パレンタルレベルとは、お子様に対しDVDの視聴を制限させるために設定するものです。パレンタルレベルの設定には、パスワードが必要です。

■視聴制限（パレンタルレベル）について

DVDビデオには、「視聴制限（パレンタルレベル）」が設定されているものがあります。パレンタルレベルはレベル1～8まであり、数字が小さくなるほど視聴制限が厳しくなります。レベル1が最も制限が厳しいパレンタルレベルです。視聴制限が設定されているディスクは、本機のパレンタルレベル設定によっては再生できないことがあります。

例：DVDの視聴制限がレベル3の場合

本機で設定したパレンタルレベルが、「レベル4～8」の場合のみ、再生できます。
本機で設定したパレンタルレベルが、「レベル1～3」の場合は、再生しようとすると「パレンタルレベル変更」の警告メッセージが表示されます。

また、パレンタルレベルは国によって異なるため、カントリーコードを設定しないと、視聴制限がうまく機能しない場合があります。

- 初期設定は「パレンタルレベルOFF」です。
- パレンタルレベルは、DVDのパッケージなどに記載されています。パッケージにパレンタルレベルが記載されていないディスクは、パレンタルレベルを設定しても視聴制限はかけられません。

- 初めてパレンタルレベルの設定をする場合は、「パスワードを設定･変更する」（P.228）をご覧ください。

DVDを観る

パスワードを設定･変更する

視聴制限の設定に必要なパスワードを設定・変更します。

- パスワードの初期設定は「0000」です。

ここまでの操作

パスワード

1 パスワード（新規パスワード設定の場合は任意の4桁）を入力して、決定 をタッチする

入力されたパスワードは、「※※※※」と表示されます。

新規パスワード設定の場合は手順4に進みます。

2 パスワードの変更 をタッチする

3 新しいパスワードを入力して、決定 をタッチする

4 もう一度同じパスワードを入力して、決定 をタッチする

新しいパスワードが設定されます。

パスワードを消去する

設定したパスワードを消去します。

ここまでの操作

パスワード

1 パスワードを入力して、決定 をタッチする

パスワードが一致すると、パスワード編集画面が表示されます。

2 パスワードの消去 をタッチする

3 はい をタッチする

パスワードが消去されます。

パレンタルレベルを設定する

- パレンタルレベルを変えるときの警告で「パレンタルレベル変更」をタッチしても、同様の操作ができます。

ここまでの操作

機能 ▶ 初期設定 ▶ パレンタルレベル

1 パスワードを入力して、決定 をタッチする

2 設定したいパレンタルレベルをタッチする

パレンタルレベルが設定されます。

- パレンタルレベルOFF をタッチすると、パレンタルレベルは設定されず、すべてのDVDビデオのパレンタルレベルに対して視聴制限が解除されます。

カントリーコードを設定する

パレンタルレベルは国によって内容が異なります。本機でパレンタルレベルを正しくお使いになるには、DVDのカントリーコードを設定する必要があります。カントリーコードは、国を識別するためのコードです。カントリーコードについて詳しくは、「カントリーコード一覧」（P.377）をご覧ください。

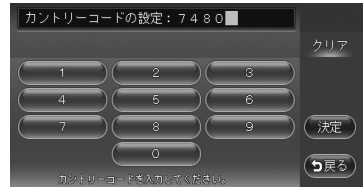
- 初期状態では、「7480（JAPAN）」が設定されています。

ここまでの操作

機能 ▶ 初期設定 ▶ カントリーコード

1 DVDに記録してある国（または地域）のカントリーコードを入力して、決定 をタッチする

カントリーコードが設定されます。

DVDを観る

常に再生状態を表示する

この設定は、DVD-VRでも行えます。

状態表示を設定する

DVDの再生画面に、常に再生状態（チャプター番号、再生時間）を表示できます。

ここまでの操作

DVDビデオ ： 機能 ▶ 初期設定 ▶ 状態表示

DVD-VR ： 機能

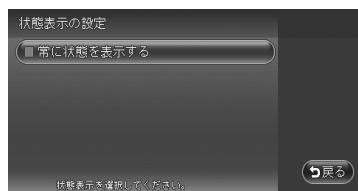
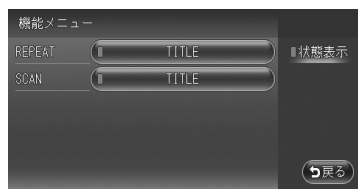
1 常に状態を表示する （DVDビデオ）、または 状態表示 （DVD-VR）をタッチする

DVDビデオ

DVD-VR

再生状態の表示が設定されます。

- 再生状態の表示を解除する場合は、 常に状態を表示する または 状態表示 を再度タッチします。

再生状態表示画面

オーディオ・ビジュアル編

CD・MP3・WMAの音楽を聴く

本機では、CD、MP3／WMA形式の音楽データを保存したディスク、SDカード、USBメモリーをお楽しみいただけます。
CD、MP3、WMAの基本的な操作方法については、P.103～P.108をご覧ください。また、USBメモリーの操作方法については、P.251からの説明をご覧ください。

本機で使えるCD …………………………………… 232
本機で使えるMP3・WMA ………………………… 233
いろいろな再生方法 ……………………………… 237
情報を表示する …………………………………… 240

本機で使えるCD

再生できるディスク

- 音楽CD（COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT のついているディスク）
- CD-TEXTディスク
- CD-Extraディスク ※ただし音楽CDとして
- Super Audio CD ※ハイブリッドディスクのCD層のみ
- パソコンで、正しいフォーマットで記録されたディスク※1
- 音楽CDレコーダーで録音した音楽用CD-R、CD-RWディスク※2
- コピーガード付きCD※3

※1 アプリケーションソフトの設定や環境によっては再生できない場合があります。詳しくはアプリケーションソフトの発売元にお問い合わせください。
※2 正常に再生できないこともあります。またCD-RWディスクは、ディスク挿入後から再生まで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。
※3 再生できないこともあります。

再生できないディスク

- 8cmディスク
- 異形のディスク
- MIX MODE CD
- CD-DA以外のディスク（オーバーバーンCDなど）
- DTS CD
- ビデオCD
- ファイナライズしていないCD-R、CD-RWディスク
- デュアルディスク（Dual Disc）は、ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。

本機で使えるMP3・WMA

MP3とは、MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
MP3ファイルは、元の音楽データを約1/10サイズに圧縮したものです。
WMAとは、Windows Media Audioの略称で、マイクロソフト社独自の音声圧縮フォーマットです。
本機では、MP3またはWMAファイルの記録されたCD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、SDカード、USBメモリーを再生することができます。

再生できるMP3・WMAファイル

- 記録メディア※1：
  CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、SDカード、SDHCカード、USBメモリー
- 記録フォーマット：
  CD：ISO9660レベル1／レベル2、Joliet、Romeo
  DVD：UDF（Ver1.02のみ）、UDF-ブリッジ、ISO9660レベル1／レベル2、Romeo
  SDカード／ USBメモリー：FAT16、FAT32
- パケットライトには非対応
- 拡張子が.MP3、または.WMAのファイル（雑音や故障の原因となるため、MP3／WMAファイル以外には「.MP3」「.WMA」の拡張子をつけないでください）

※1 マルチセッション対応で記録したディスクは、最大40セッションまで再生可能です。（DVD-R/RWはマルチセッション未対応）

MP3ファイルについて

- ID3-Tag：Ver1.x、2.xのalbum（Disc Titleとして表示）、track（Track Titleとして表示）、artist（Track Artistとして表示）の表示に対応
- エンファシス：44.1kHzのファイル再生時のみ対応
- 再生可能なサンプリング周波数
  MPEG1：44.1kHz/48kHz/32kHz
  MPEG2：22.05kHz/24kHz/16kHz
  ※音質面においては44.1kHz以上を推奨
- 再生可能なビットレート
  MPEG1：32kbps ～ 320kbps
  MPEG2：8kbps ～ 160kbps
  ※音質面においては128kbps以上を推奨
- MP3i（MP3 interactive）、mp3 PROフォーマット非対応
- VBR（バリアブルビットレート）で記録されたMP3ファイルは音飛びする場合があります。
- 記録時間の短いファイルは再生できないことがあります。
- ディスク、SDカードまたはUSBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
- 低ビットレートのファイルを早送り・早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。
- Windows Media Player、iTunes以外のTAG編集ソフトでTAG情報を変更すると、TAGが正常に表示されないことがあります。

WMAファイルについて

- 作成するパソコンのソフトウェアによっては、アルバム名が文字化けすることがあります。
- WMA9 Professional、WMA9 Voice、WMA9ロスレスフォーマット非対応。
- ディスクまたはSDカード／USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
- 再生可能なサンプリング周波数は記録バージョンによって異なります。下記の表をご参照ください。
- 再生可能なビットレートは記録バージョンによって異なります。下記の表をご参照ください。

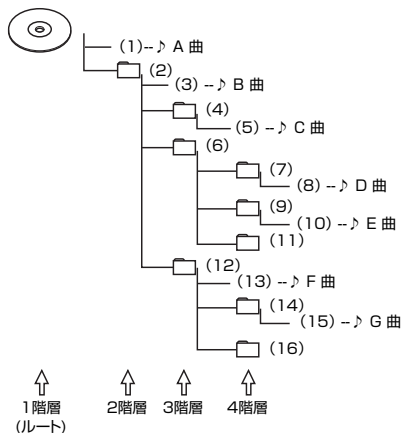
	ディスク	SDカード	USBメモリー
ビットレート（kbps）	サンプリング周波数（kHz）	サンプリング周波数（kHz）	サンプリング周波数（kHz）
192	48/44.1	48/44.1	48/44.1
160	48/44.1	48/44.1	48/44.1
128	48/44.1	48/44.1	48/44.1
96	44.1	48/44.1	44.1
80	44.1	44.1	44.1
64	44.1	48/44.1/32	44.1/32
48	44.1/32	44.1/32	44.1/32
44	—	32	32
40	32	32	32
36	—	32	32
32	44.1/32/22.05	44.1/32/22.05	44.1/32/22.05
22	22.05	32/22.05	—
20	32/22.05	44.1/32/22.05/16	—
16	22.05	22.05/16	—
VBR※	48/44.1	48/44.1	44.1

※ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。

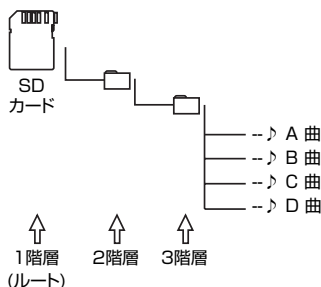
MP3・WMAの記録メディアについて

- ディスク内の最大フォルダ・ファイル・トラック数：
  フォルダ：255（ルートを含む）
  ファイル：512
  トラック：1フォルダあたり255
- SDカード内の最大フォルダ・ファイル・トラック数：
  フォルダ：500
  ファイル：4000
  トラック：1フォルダあたり99
- USBメモリー内の最大フォルダ・ファイル・トラック数：
  フォルダ：500
  ファイル：8000
  トラック：1フォルダあたり255

ディスクのフォルダ構成

MP3／WMAファイルを記録したディスクのイメージ（例：1～4階層の場合）は、下図のようになります。
曲のないフォルダは飛ばして再生順序を決めます。
下図の場合の再生順序は、(1) → (3) → (5) → (8) → (10) → (13) → (15) となります。

- ディスクの場合、8階層（ルートディレクトリを含む）までのMP3／WMAファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。

SDカード／USBメモリーのフォルダ構成

MP3／ WMAファイルを記録したSDカードのイメージは、下図のようになります。
SDカードでは3階層目にあるMP3／ WMA音楽ファイルのみが認識されます。曲のないフォルダは飛ばして再生順序を決めます。
下図の再生順序は、アルファベット順となります。

USBメモリーでは階層の指定はなく、MP3／ WMA音楽ファイルのみが認識されます。

- MP3／ WMAファイルを含まないフォルダは認識されません。
- USBメモリーの場合、8階層（ルートディレクトリを含まない）までのMP3／ WMAファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。
- SDカードの場合、3階層目にあるMP3／ WMAファイルの再生のみに対応しています。
- SDカードで1つのフォルダに99以上のトラックが入っている場合、またはUSBメモリーで1つのフォルダに255以上のトラックが入っている場合はパソコンでデータが書き込まれた順序により、認識されるトラックは変わります。
- SDカード／ USBメモリーで1つのフォルダにMP3／ WMAファイル以外のファイルを入れた場合、認識されるトラック数が少なくなることがあります。
- SDカード／ USBメモリーの各階層で認識可能なフォルダ数は最大500（2階層：アーティスト名フォルダ、3階層：アルバム名フォルダとも）になります。

本機でMP3/WMAを再生するためのご注意

- 最大数を超えてフォルダ・ファイル・トラックが記録されているディスク、SDカード、USBメモリーの場合、超過しているフォルダ・ファイル・トラックは本機では認識されません。また、本機でのフォルダおよびファイルの表示順序は、パソコンでの表示順序とは異なります。
- フォルダを含めたファイル名が長い場合、そのファイルは再生できないことがあります。
- MP3／ WMAのファイル名を表示する場合、ファイル名の長さによってはファイル名の最後に拡張子の一部（./.m/.mp/.W/.WM）が残る場合があります。その場合には、作成するファイル名の長さを調整してください。（拡張子の一部が残るファイル名の長さは使用するファイルシステムによります）

いろいろな再生方法

- 再生中のディスクおよびトラックタイトルなどの情報は、本機内にあるGracenote Music Recognition Service[SM]の情報です。またCD-TEXT対応ディスクであれば、ディスク内の情報を表示できます。
- Gracenote Music Recognition Service[SM]からタイトル情報が得られない場合や、CDからCD-TEXTの情報が得られない場合は、トラックタイトルは表示されず、「Track01」などの番号が表示されます。
- Gracenoteについて詳しくは、「Gracenote® Music Recognition Service[SM]について」（P.380）をご覧ください。
- ノンストップCD（トラックとトラックがつながっているCD）を再生すると、トラックとトラックの間に2～3秒の無音部が空いて再生されます。

フォルダ、トラックを選ぶ

タイトルリストから選択したり、番号を入力してフォルダやトラックを再生します。

- 本機では、CDを録音して再生できるミュージックキャッチャーという機能があります。初期状態では、CDを挿入すると、自動的に録音が始まるよう設定されています。

タイトルリストから再生する

ここまでの操作

1 フォルダをタッチする（MP3／WMA再生時のみ）

フォルダリスト

選択したフォルダの先頭から再生がはじまります。

聴きたいトラックを指定する場合、またはフォルダが設定されていない場合は、手順2に進んでください。

2 トラックをタッチする

トラックリスト

選択したトラックから再生がはじまります。

番号を入力して再生する

フォルダ番号やトラック番号を入力して、目的のトラックを検索します。

ここまでの操作

リスト

1 フォルダリスト画面で 番号指定 をタッチする（MP3／WMA再生時のみ）

フォルダ番号を指定しない場合は、手順3に進んでください。

2 フォルダ番号を入力して、決定 をタッチする（MP3／WMA再生時のみ）

入力した番号を先頭にしたフォルダリストが表示されます。

3 フォルダをタッチする（MP3／WMA再生時のみ）

トラックリストが表示され、選択したフォルダの先頭から再生がはじまります。

4 トラックリスト画面で 番号指定 をタッチする

5 トラック番号を入力して、決定 をタッチする

入力した番号を先頭にしたトラックリストが表示されます。

6 聴きたいトラックをタッチする

選択した曲の再生がはじまります。

リピート・スキャン・ランダム再生をする

リピート･スキャン･ランダム再生をする

ここまでの操作

機能

1 目的の項目をタッチする

CD表示画面

REPEAT：

現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

SCAN：

現在再生中のCDの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。

RANDOM：

現在再生中のCDの全トラックをランダムに再生します。

MP3／ WMA表示画面

REPEAT：

現在再生中のフォルダ全体、またはトラックのみをリピート再生します。

SCAN：

各フォルダの先頭トラックの出だし、または現在再生中のフォルダの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。

RANDOM：

全フォルダの全トラック、または現在再生中のフォルダの全トラックをランダムに再生します。

情報を表示する

トラック情報、CD-TEXT、TAG情報を表示する

再生中のトラック情報を表示する

再生中のトラックの情報を表示できます。

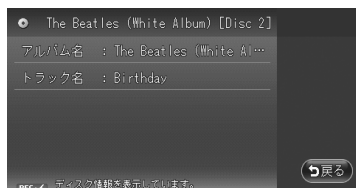
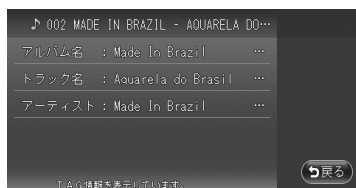
ここまでの操作

リスト

1 フォルダをタッチする（MP3／WMA再生時のみ）

2 TAG情報 （MP3／WMA）または トラック情報 （CD）をタッチする

トラック情報画面が表示されます。

CD表示画面

MP3／WMA表示画面

CD-TEXT･TAG情報を優先して表示する

リスト画面以外のタイトル表示部にCD-TEXTやTAG情報を表示できます。
CDの場合：
CD-TEXTがある場合、優先的にCD-TEXTが表示されます。
MP3／WMA音楽データの場合：
TAG情報がある場合は、優先的にTAG情報が表示されます。
TAG情報がない場合は、「タイトルなし」と表示されます。

ここまでの操作

機能

1 初期設定 をタッチする

2 CD-TEXTを優先して表示する （CD）または TAG情報を優先して表示する （MP3／WMA）をタッチする

CD-TEXTまたはTAG情報が優先して表示されます。

※画面はCDのものです。

• 優先表示を解除する場合は、同じ操作をもう一度行います。

オーディオ・ビジュアル編

ミュージックキャッチャーを使う

本機では、CDを録音して再生できる、ミュージックキャッチャーをお楽しみいただけます。
ミュージックキャッチャーの基本的な操作方法については、P.109～ P.114をご覧ください。

ミュージックキャッチャーについて …………………… 242
録音設定を変更する……………………………………… 243
いろいろな再生方法 …………………………………… 245
アルバム・トラック情報を編集する…………………… 248

ミュージックキャッチャーについて

ミュージックキャッチャーの仕様は、以下のとおりです。

録音可能トラック数	最大1000トラック（アルバムは最大200枚、1つのアルバムに収録できるトラック数：最大99トラック） ※ただし、メモリー容量の範囲内のみ（*）
録音できる音源音楽	音楽CDのみ（**）
音質	ATRAC3という音声圧縮技術を採用しています。 CDの音質を損なわず、容量を約1/10（高音質モード）に圧縮できます。

（*）メモリー容量については、**「本機の情報を見る」（P.193）**をご覧ください。
（**）録音できるCDについては、**「本機で使えるCD」（P.232）**をご覧ください。

本機は、SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム：Serial Copy Management System）の規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。SCMSでは、各種デジタルオーディオ機器の間で「デジタル信号をデジタル信号のまま録音する」というデジタル信号同士のコピーを＜1世代まで＞と規制しております。
したがって、以下の操作を本機で行えません。
●本機に録音したCDの曲をデジタル出力、デジタルコピーすること
●デジタル録音したCD-RとCD-RWおよびコピーの禁止されているCDを録音すること

タイトル表示について

CDを本機に録音すると、本機内蔵のGracenote Music Recognition Service[SM]のデータベースからタイトル・読み・アーティスト名・ジャンルの情報が取得され、画面上に表示されます。
情報を取得できなかったCDには録音した日付が表示されます。
また、CDや曲によっては、情報の取得ができない場合があります。

• Gracenote Music Recognition Service[SM]のデータベースは、インターネット上のGracenoteデータベースから最新の情報に更新できます。
詳しくは、「アルバム情報の更新について」（P.313）をご覧ください。

録音設定を変更する

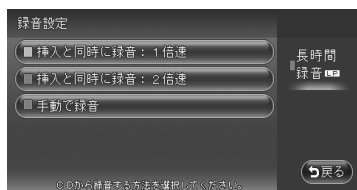
ミュージックキャッチャーにCDを録音するには、自動録音、手動録音の2つの方法があります。初期状態では、CDを挿入すると自動的に録音を開始する自動録音に設定されています。

• 録音中はSDカードの再生は行えません。

自動録音の設定を変更する

録音速度を変更する

1 録音設定 をタッチする

2 挿入と同時に録音:1倍速 または 挿入と同時に録音:2倍速 をタッチする

挿入と同時に録音:1倍速 ：
CD再生時に1倍速でCDが録音されます。

挿入と同時に録音:2倍速 ：
CD再生時に2倍速でCDが録音されます。2倍速で録音中は、CDを聴くことはできません。

• 長時間録音 をタッチすると、長時間録音モード（LP）に設定されます。工場出荷時は、高音質モード（HQ）に設定されています。長時間録音モードは、高音質モードに比べ録音曲数は多くなりますが、音質は低くなります。
  高音質モードのビットレート：
  132kbps
  長時間録音モードのビットレート：
  66kbps
• 長時間録音モード（LP）で録音された曲を再生すると、アルバム／トラック番号の下に「LP」と表示されます。
• 録音可能なトラック数は、高音質モードで最大500トラック、長時間録音モードで最大1000トラックです。アルバム数、トラック数、録音可能容量（2G byte）のいずれかが超えた場合は録音できません。

手動録音の設定をする

CDを再生中に手動でミュージックキャッチャーに録音するよう設定できます。

手動録音に設定する

ここまでの操作

 ▶ 各種設定

1 録音設定 をタッチする

2 手動で録音 をタッチする

手動録音に設定されます。

手動で録音する

CDを再生中に、手動でミュージックキャッチャーに録音できます。

1 CD再生中に REC をタッチする

2 希望の録音モードをタッチする

録音が始まります。

全曲録音 ：

再生中のCDのすべてのトラックを録音できます。確認画面で はい をタッチすると、アルバムの先頭から録音されていないトラックの再生・録音が始まります。

現在の曲を録音 ：

再生中のトラックを録音できます。トラックの先頭に戻り、再生・録音が始まります。

曲を指定して録音 ：

録音したいトラックをリストから選択して録音できます。複数のトラックを選択できます。リストからトラックを選択して 決定 をタッチすると、先頭に近い曲から順に再生・録音が始まります。

1倍速で録音 ：

1倍速で録音します。

2倍速で録音 ：

2倍速で録音します。録音中は、CDを聴くことはできません。

アルバム・トラックを選ぶ

リストから再生する

ミュージックキャッチャーのリストからアルバムやトラックを選択して再生できます。

ここまでの操作

リスト

1 アルバム名をタッチする

アルバムリスト

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。

2 トラックをタッチする

トラックリスト

選択したトラックが再生されます。

アーティスト名から再生する

ここまでの操作

リスト

1 アーティスト検索 をタッチする

2 アーティスト名をタッチする

3 アルバムをタッチする

トラックリストが表示され、選択したアルバムの先頭から再生が始まります。

条件から複数のアルバムを選んで再生する

複数のアルバムを指定して再生できます。アルバムリストからアルバムを指定する方法とアーティストのすべてのアルバムを指定する方法があります。

ここまでの操作

リスト

1 編集 をタッチする

2 選択演奏 をタッチする

3 アルバム選択 または アーティスト選択 をタッチする

アルバム選択 ：

リスト表示されたアルバムから複数のアルバムを指定できます。

アーティスト選択 ：

リスト表示されたアーティストのすべてのアルバムを指定できます。

- すでに選択演奏が設定されているときは、選択演奏解除 が表示されます。選択演奏解除 をタッチすると、選択演奏を中止します。

4 アルバムまたはアーティスト名を選択して、決定 をタッチする

選択した項目が再生されます。

リピート・スキャン・ランダム再生をする

リピート･スキャン･ランダム再生をする

ここまでの操作

1 目的の項目をタッチする

選択した動作での再生が始まります。

REPEAT：

現在再生中のアルバム全体、またはトラックのみをリピート再生します。

SCAN：

各アルバムの先頭トラックの出だし、または現在再生中のアルバムの各トラックの出だしを10秒間ずつ再生します。

RANDOM：

全アルバムの全トラック、または現在再生中のアルバムの全トラックをランダムに再生します。

アルバム・トラック情報を編集する

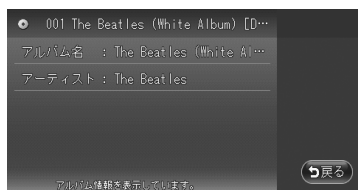
アルバムを編集する

アルバム情報を表示する

ミュージックキャッチャーで再生中のアルバム名とアーティスト名を表示できます。

ここまででの操作
リスト

1 アルバム情報 をタッチする

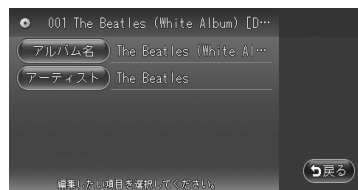
アルバム情報が表示されます。

アルバム情報を編集する

ここまでの操作
リスト

1 編集 をタッチする

2 情報編集 をタッチする

3 編集したいアルバムをタッチする

4 アルバム名 または アーティスト をタッチする

5 アルバム名またはアーティスト名を入力して、決定 をタッチする

アルバム情報が編集されます。

- アルバム名、アーティスト名は全角・半角で20文字まで入力できます。

不要なアルバムを削除する

• 一度削除したアルバムは元に戻せません。

ここまでの操作

リスト

1 編集 をタッチする

2 アルバム削除 をタッチする

3 削除したいアルバムを選択して、決定 をタッチする

• 複数のアルバムを選択できます。

4 はい をタッチする

選択したアルバムが削除されます。

アルバムの再生順序を並べ替える

ここまでの操作

リスト

1 編集 をタッチする

2 アルバム並替 をタッチする

3 順序を変えたいアルバムをタッチする

4 移動先の ◀移動 をタッチする

5 決定 をタッチする

確認メッセージが表示され、アルバムリスト画面に戻ります。

アルバムリスト画面に戻ると、先頭のアルバムから再生が始まります。

トラックを編集する

トラック情報を編集する

トラック名を編集できます。

ここまでの操作

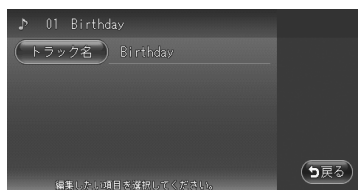
リスト

1 編集したいアルバムをタッチする

2 編集 をタッチする

3 情報編集 をタッチする

4 編集したいトラックをタッチする

5 トラック名 をタッチする

6 トラック名を入力して、決定 をタッチする

トラック情報が編集されます。

- トラック名には全角・半角で20文字まで入力できます。

不要なトラックを削除する

- 一度削除したトラックは元に戻せません。

ここまでの操作

リスト

1 編集したいアルバムをタッチする

2 編集 をタッチする

3 トラック削除 をタッチする

4 削除したいトラックを選択して、決定 をタッチする

- 複数のトラックを選択できます。

5 はい をタッチする

選択したトラックが削除されます。

USBメモリーの オーディオを聴く

お手持ちのUSBメモリーと本機をつないで、MP3／WMAの音楽を聴くことができます。

USBメモリーの音楽を聴く ………………………… 252

USBメモリーの音楽を聴く

別売のUSB接続ケーブルにUSBメモリーを接続することにより、パソコンで編集したMP3／WMA形式の音楽データを本機で再生することができます。USBメモリーの接続方法について、詳しくは三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

音楽データの保存方法について

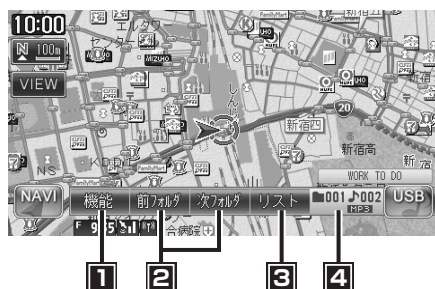
USBメモリーには、MP3またはWMA形式の音楽ファイルを保存してください。
USBメモリー内の階層は、9階層（ルートを含む）までです。
アーティスト名、アルバム名、トラック名の文字数合計は半角で250文字以内にしてください。

- USBメモリーに保存できる音楽データの最大数について詳しくは、「本機で使えるMP3・WMA」（P.233）をご覧ください。
- 音楽データを保存する際の注意事項について詳しくは、「本機で使えるMP3・WMA」（P.233）をご覧ください。

操作画面について

ここまでの操作

USBメモリーを接続する   USB/iPod

- USB接続ケーブルにiPodを接続している場合は、USBメモリーはご利用になれません。

■この画面からできる操作

1 リピート再生、スキャン再生、ランダム再生をするための機能メニューを表示する …… P.239
2 再生するフォルダを切り替える …… P.108
3 フォルダリストを表示する …… P.237
4 再生中のフォルダ、トラックの番号を表示する

USBメモリーのオーディオを再生する

再生する

ここまでの操作

USBメモリーを接続する ▶

1 USB/iPod をタッチする

USBメモリーのオーディオが再生されます。

前／次のトラックを再生する

1 ＜ または ＞ を押す

- ＜ を押すとトラックの先頭に戻り、さらに ＜ を押すごとに前のトラックに移動します。
- ＞ を押すごとに次のトラックに移動します。

早送り／早戻しする

1 ＞ (早送り)または ＜ (早戻し) を押し続ける

- ＞ 、 ＜ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

以降の操作はSDカードからの再生と同様です。下記のページを参照して操作を行ってください。

- フォルダ／トラックリストからダイレクトに選曲する…… P.237
- フォルダ番号／トラック番号を選んで再生する…… P.238
- リピート、スキャン、ランダム再生をする…… P.239
- トラックの情報を表示する…… P.240
- TAG情報を表示する …… P.240

オーディオ・ビジュアル編

iPodを聴く／iPodビデオを観る

本機では、iPod（別売）を接続して、iPod内の音楽データやビデオ映像をお楽しみいただけます。
iPodの基本的な操作方法については、P.115～P.118をご覧ください。

接続できるiPod ……………………………………… 256
いろいろな再生方法 ……………………………………… 258
情報を表示する ………………………………………… 261
iPodの接続方法を切り替える ………………………… 262

接続できるiPod

本機は第5世代iPod、iPod classic、iPod nano、iPod touchに対応しています。詳細は以下の表をご覧ください。iPodは本機に付属していません。お手持ちのiPodをお使いください。iPodを本機に接続するには、iPodに付属のiPodケーブルを、別売のUSB接続ケーブルに接続します。iPodビデオを観るには、別売のUSB接続ケーブル、iPod接続用ケーブル（ビデオ用）、ビデオ入出力コードが必要です。別売品について、詳しくは三菱自動車販売会社にお問い合わせください。

接続可能なiPod	備考
iPod（第5世代）	ビデオ再生可
iPod classic（80GB、120GB、160GB）※1	ビデオ再生可
iPod nano（第1世代、第2世代）	
iPod nano（第3世代、第4世代※1）	ビデオ再生可
iPod touch（第1世代※2，※3）	ビデオ再生不可
iPod touch（第2世代）	ビデオ再生可

※1　ビデオファイルのみ保存している場合、iPodが認識されない場合があります。一つでも音楽ファイルを保存すると解消されます。

※2　ファームウェア2.0以降では、ビデオを再生することができます。ファームウェアが2.0より古い場合は、ミュージックモードでのみお使いください。

※3　「On-The-Go」は再生できません。iTunesと同期後はプレイリストとして再生できます。

- iPodの動作が停止した場合、カテゴリーリストから曲やビデオを選択することによって操作可能になる場合があります。
- iPodのトラックリピート機能を設定している場合は、正しく動作しない場合があります。
- iPodのシャッフル機能を設定していると正しく動作しない場合があります。その場合は、シャッフル機能の設定を解除してからご利用ください。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機からiPodを取り外して再度接続してください。
- iPodが操作不能になった場合は、iPod本体をリセットし、再度接続してください。

  リセット方法の例
  - iPodの場合：
    「センター」ボタンと「メニュー」ボタンをAppleのロゴが表示されるまで同時に押し続けます。
  - iPod touchの場合：
    「スリープ／スリープ解除」ボタンと「ホーム」ボタンを、Appleのロゴが表示されるまで同時に押し続けます。

  ※iPodをリセットして再接続しても動作しない場合は、リセット後、iPod単体で動作することを確認してから接続するようにしてください。
- 車のエンジンスイッチまたはパワースイッチをLOCKにしたあとは、必ずiPodを取り外してください。接続したままではiPodの電源が切れない場合があるため、iPodの電源を消耗する恐れがあります。

トラックを選ぶ

タイトルリストから再生する

ここまでの操作

リスト

1 トラックをタッチする

選択したトラックが再生されます。

トラック番号を入力して再生する

トラック番号を指定して、iPodのトラックを再生できます。

ここまでの操作

リスト

1 番号指定 をタッチする

2 トラック番号を入力して、決定 をタッチする

入力した番号を先頭にしたトラックリストが表示されます。

3 聴きたいトラックをタッチする

選択した曲の再生がはじまります。

条件を指定して再生する

さまざまな条件からiPodのトラックを探して再生できます。

ここまでの操作
ミュージック

1 お好みの項目をタッチする

• 選択できる項目は以下のとおりです。
プレイリスト／アーティスト／アルバム／曲／ Podcast ／ジャンル／作曲者

2 さらにお好みの項目をタッチする

※画面は アルバム をタッチした場合のものです。

3 聴きたいトラックをタッチする

選択した曲の再生がはじまります。

■コントロールバーをカスタマイズする

AVコントロールバーの中央にあるタッチキー（初期状態ではプレイリスト）に、他の機能を割り付けられます。

ここまでの操作
機能

1 機能の選択 をタッチする

• （　）内には、現在の設定項目が表示されます。

2 割り付けたい機能をタッチする

選択した機能がコントロールバーに割り付けられます。

• 割り付けられる機能は以下のとおりです。
プレイリスト／アーティスト／アルバム／曲／ Podcast ／ジャンル／作曲者

リピート・シャッフル再生をする

リピート･シャッフル再生をする

ここまでの操作

機能

1 目的の項目をタッチする

iPodオーディオ画面

iPodビデオ画面

選択した動作での再生が始まります。

REPEAT：

現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

SHUFFLE：

ALBUM をタッチすると、すべてのアルバムをランダムに再生します。アルバム内のトラックは順番に再生されます。

TRACK をタッチすると、再生中のアルバムのトラックをランダムに再生します。

- iPodの機種によっては、リピート再生ができない場合があります。
- シャッフル再生中に、iPodをビデオモードに切り替えると、シャッフル再生は自動的に解除されます。

トラック情報を表示する

情報を表示する

ここまでの操作

リスト

1 トラック情報 をタッチする

トラック情報が表示されます。

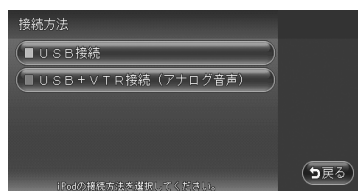
iPodの接続方法を切り替える

接続方法を切り替える

iPodの接続方法を、「USBのみ」または「USB＋VTR接続」から選択します。
工場出荷時は「USBのみ」に設定されています。

接続方法を切り替える

1 接続方法 をタッチする

2 接続方法を選択してタッチする

USB接続 ：

iPodはミュージックモードのみの対応になります。iPodビデオモードへの切り替えはできません。

USB+VTR接続(アナログ音声) ：

VTR端子をiPodの映像、音声入力として使用します。この設定を行うとソース選択画面の VTR は非表示になり、VTR機器のご利用はできません。

- 接続方法を変更した場合は、iPodの接続を一度解除して再度接続してください。